

# キッチン用 ナビッシュハンズフリー水栓

SF-NAH451SY 型

SF-NAH452SY 型

JF-NAH461SY 型

JF-NAH462SY 型

SF-NAH471SY 型

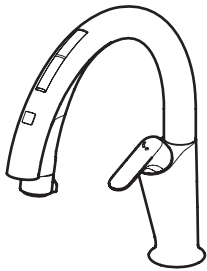
SF-NAH472SY 型

SF-NAR452SY 型

上記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。  
品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
お読みになったあともすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に記載されている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

### 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入のうえ、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品概要 .....	1
安全上のご注意 .....	12

ご使用方法 .....	22
凍結のおそれがある場合 .....	40
浄水カートリッジについて .....	47

日常のお手入れ .....	55
定期的なお手入れ .....	57
定期的な部品交換のお願い .....	60

修理を依頼される前に .....	62
アフターサービスについて .....	93

仕様 .....	94
保証書 .....	裏表紙

# 商品概要

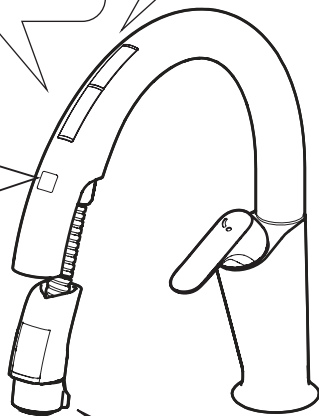
タッチレスセンサー  
⇒ P.28  
センサーに手をかざすと湯水  
と浄水が出し止めできます。

ルミナスサイン  
⇒ P.24  
湯水の温度を光の色で表  
示します。

自動センサー⇒ P.25  
手を差し出している間、湯水  
が出ます。

浄水カートリッジ交換時期  
お知らせ機能⇒ P.47  
カートリッジ交換時期が近  
づくとき”交換”の文字が点滅、  
交換時期になると点灯しま  
す。

切替ユニット⇒ P.35  
シャワーと整流を切り替  
えます。

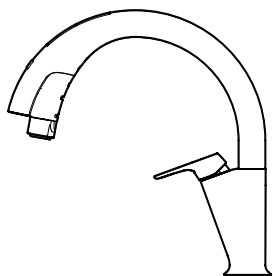


この説明書に記載されているイラストは、品番によっては、現品と形状  
が一部異なる場合があります。

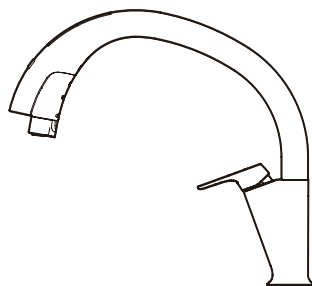
## ●吐水口の長さ

吐水口の仕様は、長さ違いによる「標準タイプ」と「ロングタイプ」の2種類あります。

標準タイプ



ロングタイプ

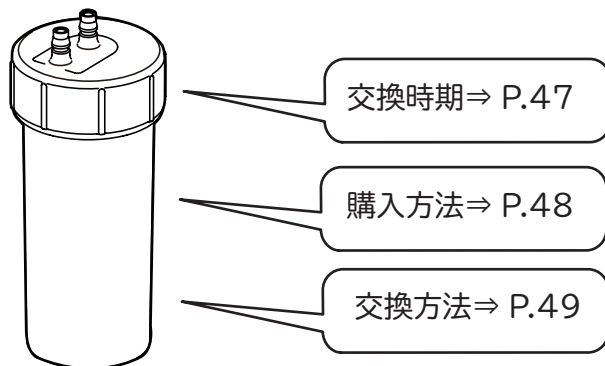


## ●高性能浄水器（浄水カートリッジ）

【浄水タイプの場合】

水栓に適合する浄水カートリッジは、主に除去できる物質数の違いにより2品番あります。（参照）

- ・ JF-45N(17+2 物質除去タイプ)
- ・ JF-43N(12 物質除去タイプ)



### ご案内

- ・ 水栓本体購入時の付属浄水カートリッジは、JF-45Nです。
- ・ JF-45N と JF-43N の製品寸法は同じです。
- ・ JF-45N は除去性能が向上しているため、ろ過流量が JF-43N より少ない仕様になっています。

## 【商品一覧表】

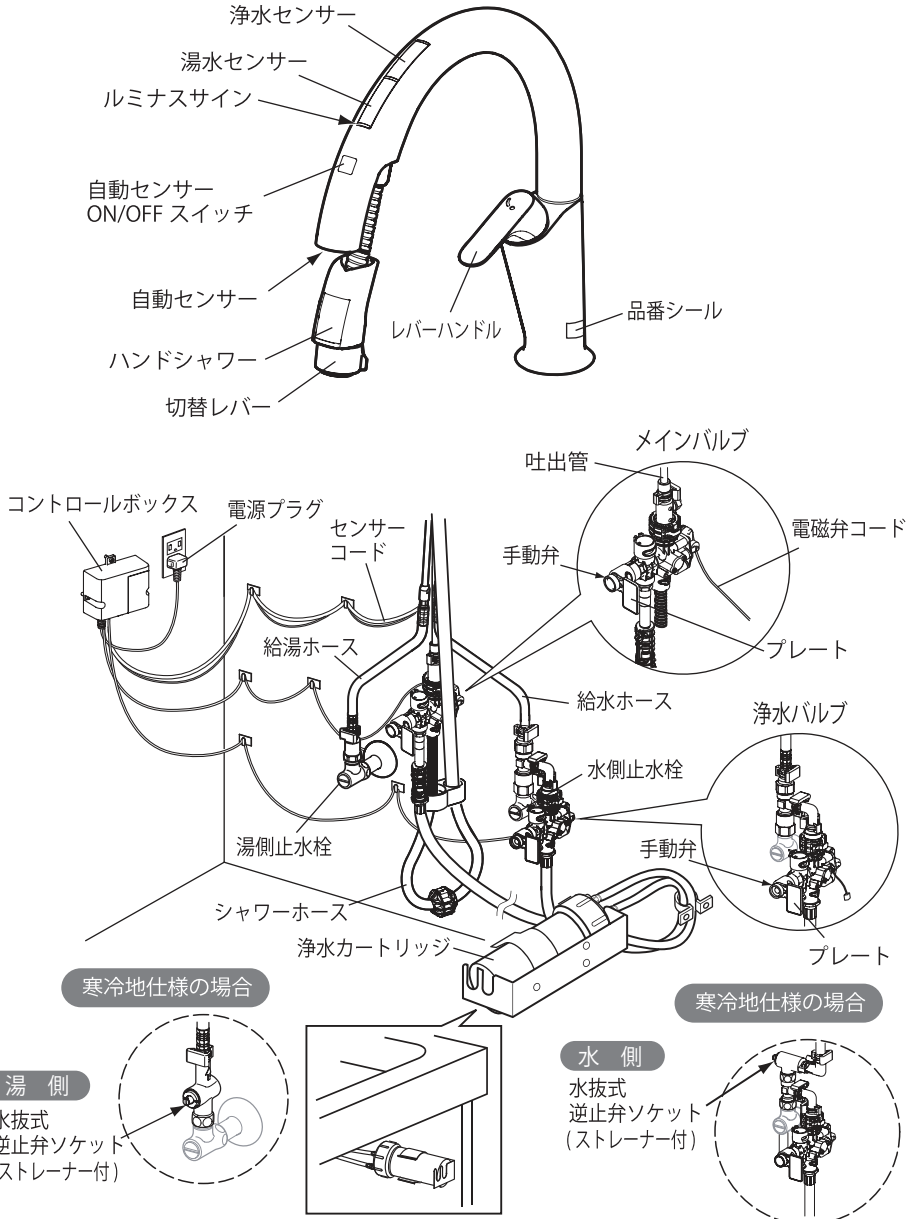
吐水口長さ	タイプ	型 式	シャワー種類	ルミナスサイン	検知音
標準タイプ	浄水タイプ	JF-NAH461SY型	スポット 微細シャワー	あり	あり ※なしに切替可
	エコセンサー付タイプ	SF-NAH471SY型			
	ノーマルタイプ	SF-NAH451SY型			
ロングタイプ	浄水タイプ	JF-NAH462SY型	ひろびろ シャワー	あり	あり ※なしに切替可
	エコセンサー付タイプ	SF-NAH472SY型			
	ノーマルタイプ	SF-NAH452SY型			
		SF-NAR452SY型		なし	なし

## こんなときは

水が止まらない	センサーの表面が汚れていませんか？	P.55
	メインバルブの手動弁が開いていませんか？	P.91
	浄水がポタポタ落ちる状態ですか？	P.53
水を止めたあとに少しの間水が垂れる	故障ではありません。	—
湯にならない	給湯器は点火していますか？	P.11
水が出ない	センサーコードがコネクタにしっかりと差し込まれていますか？	P.90
	レバーハンドルが閉じていませんか？	P.10
	センサーの安心機能が働いていませんか？	P.25
	自動センサー ON/OFF スイッチが黄色または緑色または紫色になっていませんか？	P.53
水栓から音がする	流量は止水栓で適切に調整されていますか？	P.10
水の流れが乱れる	吐水口内にゴミが詰まっていますか？	P.57
停電及び故障時の応急処置	メインバルブの手動弁を開けることで、センサーに関係なくレバーハンドルのみで吐水・止水できます。	P.91
その他のお困りごと	「修理を依頼される前に」をご確認ください。	P.62

# 各部の名称

JF-NAH461SY 型、JF-NAH462SY 型  
浄水タイプ

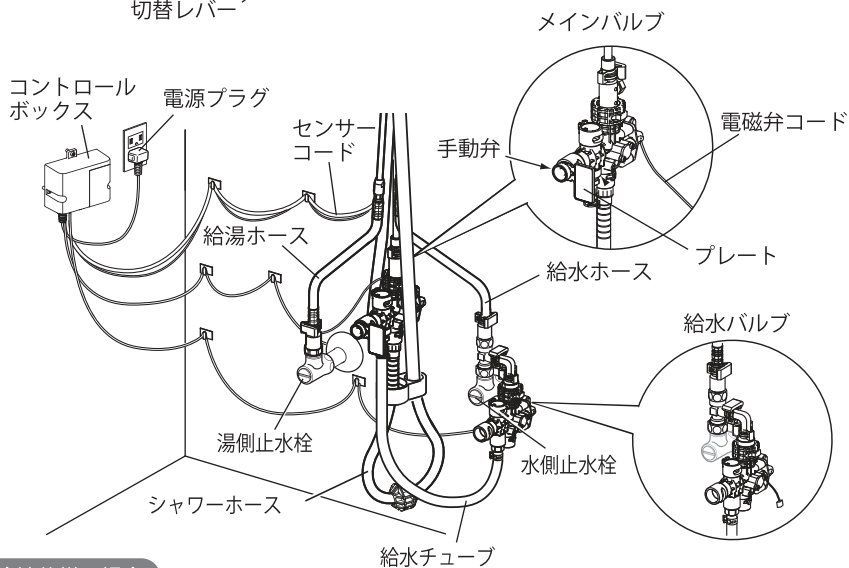
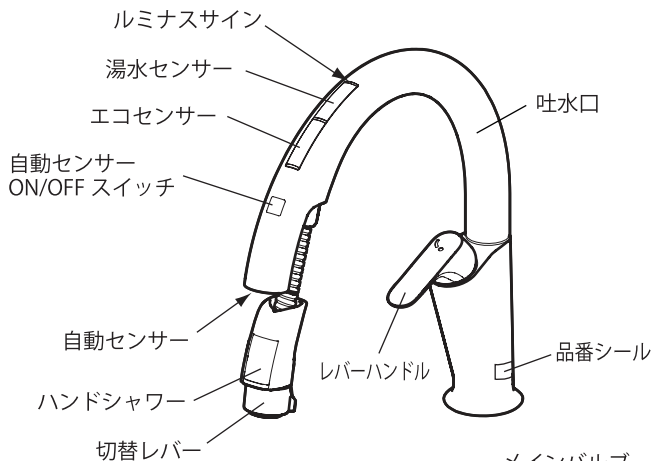


※止水栓は本商品に含まれません。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

はじめに

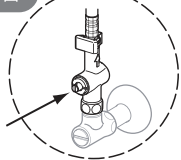
# SF-NAH471SY 型、SF-NAH472SY 型 エコセンサー付タイプ



寒冷地仕様の場合

湯側

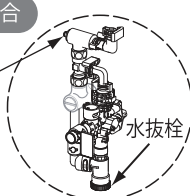
水抜き式  
 逆止弁ソケット  
 (ストレーナー付)



寒冷地仕様の場合

水側

水抜き式  
 逆止弁ソケット  
 (ストレーナー付)

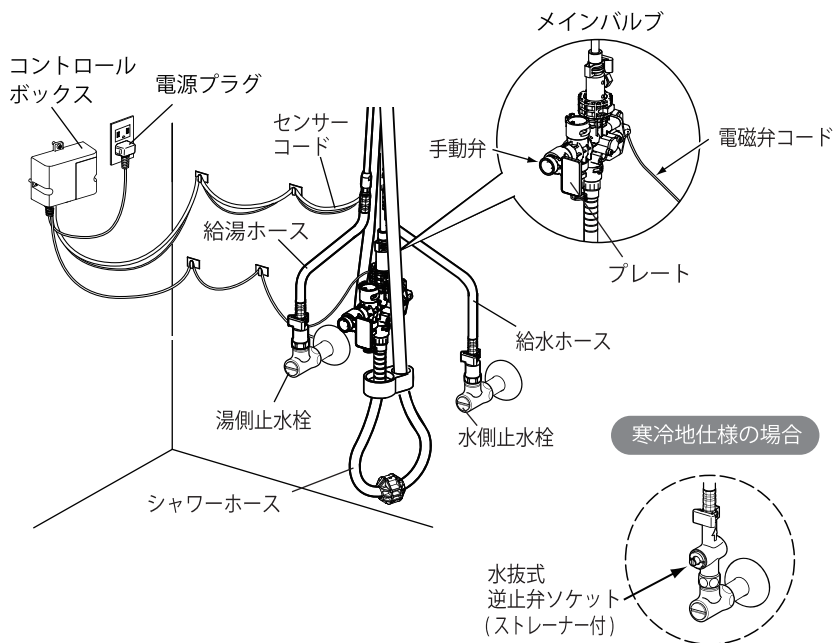
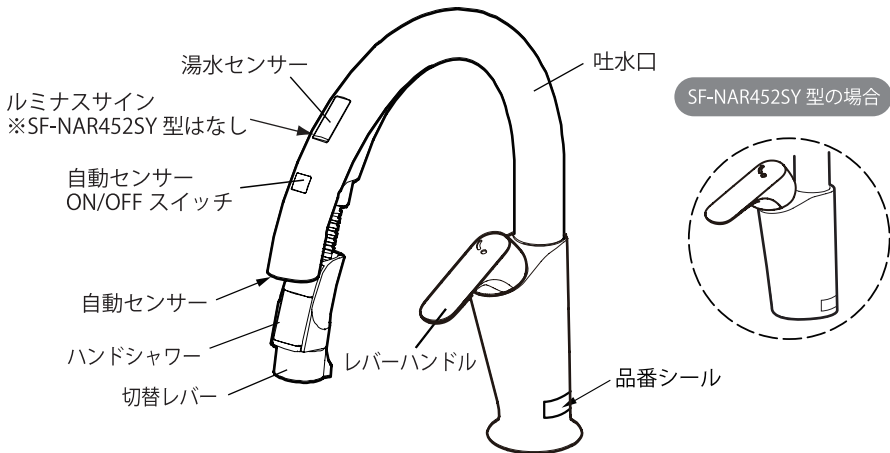


水抜き栓

※止水栓は本商品に含まれません。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# SF-NAH451SY 型、SF-NAH452SY 型、SF-NAR452SY 型 ノーマルタイプ



※止水栓は本商品に含まれません。

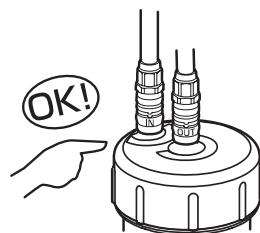
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## ご使用前に

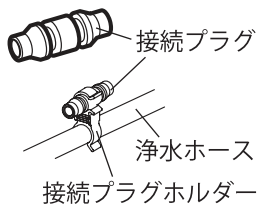
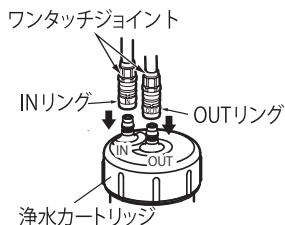
【浄水タイプの場合】

### ●浄水カートリッジの接続

浄水ホースと浄水カートリッジがしっかりと接続されていることを確認してください。



【浄水ホースが浄水カートリッジに接続されていない場合】



1. 接続ホース同士が接続プラグで接続されている場合は、ワンタッチジョイントのリングに指をかけて、接続ホースを接続プラグから外す。

2. 接続ホースのリングと浄水カートリッジのシールの色を合わせて接続する。

逆に接続すると、浄水カートリッジの活性炭などが流れ出すおそれがあります。

浄水カートリッジへの接続は、「浄水カートリッジの交換方法」(P.49)をご参照ください。

3. はずした接続プラグを接続プラグホルダーにはめる。

接続プラグは、接続プラグホルダーに取り付けて保管してください。



## 接続プラグの保管

接続プラグは次のような場合に使用しますので、大切に保管してください。

【浄水カートリッジを交換するとき】

・浄水ホース内を洗浄するときに使用します。

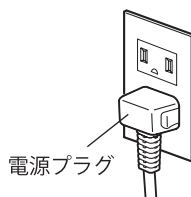
【浄水カートリッジを使用しないとき】及び

【水栓の水抜き操作をするとき（寒冷地仕様の場合のみ）】

・浄水カートリッジを取り外し、浄水ホースどうしを接続する接続プラグとして使用します。

## ●電源の確認

電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。



【浄水タイプの場合】

## ●浄水カートリッジ交換時期のリセット

ご使用前に、浄水カートリッジの交換時期を次の手順に従って、必ずリセットしてください。

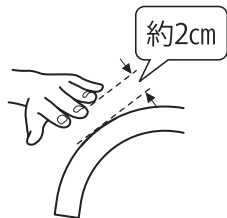
※カートリッジ交換時期をリセットせずに使用すると、交換表示が早く点灯することがあります。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生する場合があります。

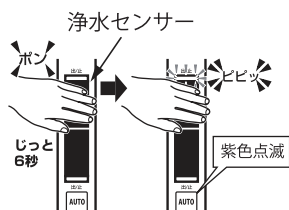


629021185001

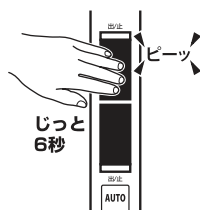
- ・浄水センサーに手をかざして作業をします。
  - ・次の 1 ～ 3 までの操作は 60 秒以内で行ってください。
- ※60 秒間で操作が完了しないと通常の状態に戻ります。
- ・不意に自動センサー ON/OFF スイッチが紫色（または緑色）点滅になった場合は、60 秒間センサーへの操作を行わないでください。



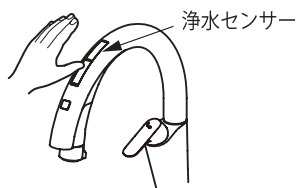
1. 浄水センサーから約 2 センチ離れたところに、連続 6 ~ 7 秒間手をかざす。



2. 浄水センサーから手を引く。



3. 再度浄水センサーから約 2 センチ離れたところに、連続 6 ~ 7 秒間手をかざす。



4. リセットが完了すると、浄水が吐水されます。浄水センサーに手をかざして止水する。

## ●レバーハンドルの位置



湯水センサー、自動センサーを使用する前にレバーハンドルが上がっていることをご確認ください。

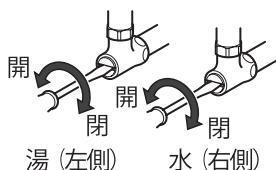
※レバーハンドルが上がっていないと 湯水センサー、自動センサーに手をかざしても吐水しません。

### 【浄水タイプ・エコセンサー付タイプ】

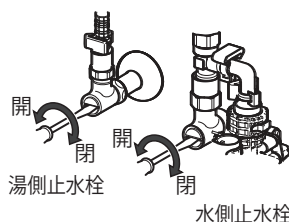
レバーハンドルが下がった状態でも浄水センサーやエコセンサーは吐水します。(水のみ)

## ●流量の調整

レバーハンドルを全開にして湯水センサー、自動センサーにそれぞれ手をかざして流量をご確認ください。



【ノーマルタイプ】



【浄水タイプ・エコセンサー付タイプ】

### 【最適流量の目安】

ペットボトル 500 ml をいっぱいにする時間の目安です。

吐水方法	最適流量の目安	レバーハンドルでの流量調節
湯水センサー	約 4 秒	できる
自動センサー	約 4 秒	できる
浄水センサー、エコセンサー	6 ~ 10 秒	できない (一定の流量)

流量が目安より短かったり、長かったりする場合は、止水栓で流量の調節をしてください。

湯と水の流量が同じになるように調整してください。

【浄水タイプ、エコセンサー付タイプの場合】

## ●定流量弁の取外し方法

浄水センサーで浄水を出すとき、またはエコセンサーで水を出すとき、流量が不足する（シャワーが乱れる）場合は、定流量弁を外してください。（P.87 参照）

## ●給湯機器と組み合わせてご使用の場合

安全のため給湯機器の設定温度は 60℃以下にしてご使用ください。

※不意に熱い湯が出てヤケドをするおそれがあります。

【ガス給湯器をご使用の場合】

- 少ない水量で使用すると、給湯器の運転に必要な流量に満たず、給湯器が点火しない場合があります。このときは、止水栓もしくは水栓のハンドルを開き、流量を増やしてください。
- 水温が高いときは、給湯器が点火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度を少し上げて試してください（夏は水温が高く、冬は水温が低くなります）。








【瞬間湯沸かし器をご使用の場合】

- 季節や用途に合わせて、設定温度や能力を切り替えてご使用ください。
- 給水圧力が低いときは、湯沸かし器が点火しない場合があります。湯沸かし器に十分な水圧がきているかをご確認ください。

# 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

## 用語および記号の説明






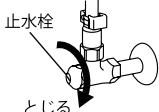



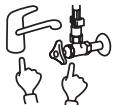
<b>警告</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
<b>注意</b>	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
	「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
 (禁止)	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
 (分解禁止)	「分解してはいけません！」
 (接触禁止)	「指示した場所には触れてはいけません！」
 (指示)	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
 (水場禁止)	「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
 (プラグ抜く)	「電源プラグを抜きなさい！」

**⚠ 警告：ヤケドをしないために**









 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	湯をご使用のときは、他所の水栓と同時に使用しないでください。 ※圧力変動により湯温が上昇し、ヤケドをするおそれがあります。	
 (禁止)	給湯器の設定温度は 85℃より高温にしないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ※ヤケド防止のため、給湯器の設定温度は 60℃をおすすめします。	
 (禁止)	高温の湯をご使用のときは、吐水口の先端が高温になっていますので、吐水切替の操作をしないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (接触禁止)	高温の湯をご使用のときは、ホースが高温になっていますので、直接触れないでください。 ※ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	高温の湯をご使用のあとは、水栓内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	湯を止めるときは、必ずレバーハンドルを水側にして閉めてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	湯をご使用のときは、必ず水を出したあとに、ゆっくりと温度を調節してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	高温止水機能を解除した直後に吐水するときは、最初に出る湯に触れないでください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	レバーハンドルの位置を確認してから吐水してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	

はじめに

## ⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (指示)	ご使用になる前に、必ず素手で適温であることを確認してください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にご確認ください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (指示)	ストレーナーの掃除をするときは、止水栓または元栓を閉めてください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	止水栓  とじる
 (禁止)	<b>【寒冷地の場合】</b> 水抜栓は、水抜き以外の目的で開けないでください。 ※高温の湯が出てヤケドをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害が発生したりするおそれがあります。	
 (指示)	定期的にガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

## ⚠ 警告：発火、感電防止のために

 (分解禁止)	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。 ※発火、感電、故障、破損の原因となります。 ※異常動作し、ケガをするおそれがあります。	
 (禁止)	中性洗剤以外は使用しないでください。 ※電気製品ですので、火災、感電の原因となります。	
 (禁止)	水につけたり、水をかけないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	
 (禁止)	バスルームなどの水がかかる場所や、表面に水滴を生じるような湿気の高い場所では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	



⚠ 警告：発火、感電防止のために

 (禁止)	<p>電源プラグを濡れた手で触らないでください。                  ※感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>雷が発生しているときは、電源プラグに触らないでください。                  ※感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>交流 100 V (50/60Hz) 以外では使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	<p>100V以外</p> 
 (禁止)	<p>タコ足配線はしないでください。                  ※発火の原因となります。</p>	
 (プラグ抜く)	<p>水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグまたはACアダプターを抜いて修理を依頼してください。                  ※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントへの差込みが緩んでいたりするときは使用しないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。                  ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>電源コードと他のコードを一緒に束ねないでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>電源プラグにホコリがたまらないよう、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを拭き取ってください。                  ※電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	






はじめに





**⚠ 警告：発火、感電防止のために**

 (指示)	<p>電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。                  ※発火、ショート、感電の原因となります。</p>	 しっかり 根元まで
--	---	--

**⚠ 注意：正しくご使用いただくために**

 (禁止)	<p>水を飲むときは、水の出口に直接口をつけないでください。                  ※ケガをするおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>毎朝ご使用になる前に、約 10 秒間水を流してください。                  ※水道水が水道管の中に長い時間滞留していると、使用している水道管の種類にもよりますが、水道水に臭いが付くことがあります。また、長時間水道を使用しないと、水道水中の残留塩素が無くなる場合があります、不衛生になります。</p>	
 (禁止)	<p>ハンドシャワーを落としたり、ぶついたりしないでください。                  ※キズがつき、ケガをするおそれがあります。                  ※衝撃で破損し、漏水や故障の原因となります。                  ※周囲の物が破損し、ケガをするおそれがあります。                  ハンドシャワーにキズがついた場合は、LIXIL 修理受付センターに修理、交換を依頼してください。有料修理にて承ります。</p>	
 (指示)	<p>めっきのハガレはそのまま放置せず、修理依頼をしてください。                  ※はがれためっきやキズでケガをするおそれがあります。修理依頼はお買い求めの取扱店またはグロースサービスセンターへご連絡ください。</p>	
 (禁止)	<p>衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。                  ※破損してケガをしたり、漏水、故障の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>水栓に勢いよく水をかけないでください。                  ※水抜き穴やハンドシャワー引出口、本体の継ぎ目などから水が浸入し、製品の故障や家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

▲ 注意：正しくご使用いただくために




 (禁止)	<p>シンクやボウルの外に吐水しないでください。                  ※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>ハンドシャワーを強く引っ張るなど、無理な力を加えないでください。                  ※シャワーホースが破損し、ケガや漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>ハンドシャワー内に磁石が入っています。磁石の力は微弱ですが、時計などの精密機器や、ペースメーカーなどがハンドシャワー上部に直接触れないように注意してください。                  ※時計の故障や、ペースメーカーの乱れが生じるおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>キャビネット内の物を出し入れするときは、ホースに引っ掛けるなど無理な力が加わらないようにしてください。                  ※ホースの外れや損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p>キャビネット内にある浄水カートリッジや浄水ホースに、熱い調理器具などを近づけないでください。                  ※漏水、故障、変形の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>浄水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。                  ※曲げ半径は 60mm 以上を目安としてください。接続ホースが折れたりすると、流量が少なくなります。</p>	
 (指示)	<p>直射日光の当たる場所では使用しないでください。                  ※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。</p>	
 (指示)	<p>ハンドルはゆっくり操作してください。                  ※ハンドルを急に閉めると配管に衝撃が加わり、配管の損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>感知範囲内に障害物が入らないようにしてください。                  ※誤作動により、予期せぬ事故の原因となります。</p>	

はじめに

▲ 注意：正しくご使用いただくために






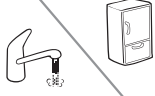

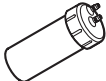

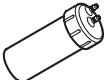


 (指示)	<p>断水時はレバーハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。                  ※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>定期的に、配管まわり(キャビネット内、点検口内など)の漏水がないか確認してください。                  ※漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。                  ※商品の内部腐食により、漏水、故障の原因となります。                  ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水质基準に適合する水をいいます。</p>	<p>水道水のみ OK</p> 
 (禁止)	<p>使い始めの水は飲用しないでください。                  ※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。</p>	<p>使い始め</p> 
 (禁止)	<p>吐水口先端に重い物を下げたり、力をかけたりしないでください。                  ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>水の出口をふさいだ状態で使用しないでください。                  ※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。                  ※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>止水機構を持った浄水器は、取り付けしないでください。                  ※水栓各部からの漏水や給湯機器への逆流のおそれがあります。                  ※水の出口に浄水器を取り付けると、パッキン類が摩耗し、耐久性が低下することがあります。</p>	
 (指示)	<p>日頃から、ときどき吐水口を動かしてください。                  ※水アカなどが付着し動きにくくなります。無理に動かそうとすると、漏水の原因となります。</p>	
 (禁止)	<p>ハンドシャワーを貯めた水に浸けないでください。                  ※汚水や雑菌などが水栓内部に浸入するおそれがあります。</p>	

▲ 注意：正しくご使用いただくために


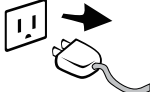
 (指示)	<p>水の出口は常に清潔な状態を保つよう心がけてください。特に跳ね返りなどで汚れが付着した場合は速やかに掃除してください。</p> <p>※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p>	
 (指示)	<p>水の出口の掃除は、週に1回程度、熱湯消毒などをした清潔な歯ブラシなどで行ってください。</p> <p>※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p>	
 (禁止)	<p>浄水を養魚用に使用しないでください。</p> <p>※魚などが死ぬ原因となることがあります。</p>	
 (禁止)	<p>浄水カートリッジを落とさないでください。</p> <p>※破損して満足な性能が得られなくなる場合があります。</p> <p>※黒色粉末（活性炭）の入った水が継続して出てくる場合は、浄水カートリッジの破損が疑われますので、交換してください。</p>	
 (指示)	<p>赤水などで濁りがひどいときは、浄水カートリッジを通さないでしばらく水を流し、濁りがなくなったことを確認してから、浄水カートリッジを接続してご使用ください。</p> <p>※浄水カートリッジの寿命が短くなり、浄水の流量が少なくなることがあります。</p> <p>※ホースの寿命が短くなり、ホースが破損して漏水の原因となります。</p> <p>※浄水ホースの接続は、水栓に付属の「接続プラグ」をご使用ください。</p>	
 (指示)	<p>浄水はなるべく早くご使用ください。</p> <p>※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。汲み置きする場合でも、清潔な容器に入れて密閉し、冷蔵庫に保管し、1日以内を目安に早めにご使用ください。また使用した容器はきれいに洗浄してください。（保存環境によっては、1日以内でも雑菌が繁殖しやすくなる場合があります。）</p>	<p>早く使用する</p>  <p>冷蔵庫に保管 1日以内</p>

はじめに






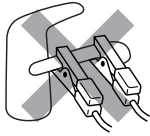
▲ 注意：正しくご使用いただくために

 (指示)	<p>毎朝ご使用になる前に、浄水を 10 秒以上流してください。</p> <p>※残留塩素を除去しているため、雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p>	<p>毎朝</p>  <p>使用前に 10 秒以上 浄水を通水</p>
 (指示)	<p>2 日間以上ご使用にならなかったときや、初めてご使用になるときは、浄水を 1 分以上流してからご使用ください。</p> <p>※残留塩素を除去しているため、雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p> <p>※使い始めのうちは浄水に空気が混ざるため白く濁ったように見える場合があります。</p>	<p>2 日間 以上 初めて</p>  <p>使用前に 1 分以上 浄水を通水</p>
 (指示)	<p>長期間 (1 ~ 2 週間程度)、ご使用にならないときは、浄水カートリッジを清潔なポリ袋などに入れて密閉し冷蔵庫で保管してください。再使用される前に、浄水を 1 分以上流してからご使用ください。</p> <p>※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p> <p>※凍らせないでください。浄水カートリッジが破損する場合があります。</p>	<p>カートリッジを 冷蔵庫に保管</p>  <p>使用前に 1 分以上 浄水を通水</p>
 (指示)	<p>2 週間以上ご使用にならなかったときは、カートリッジの交換をおすすめします。</p> <p>※残留塩素を除去しているため、雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p>	<p>カートリッジを交換</p> 
 (指示)	<p>浄水カートリッジの交換時期の目安 (12 ヶ月) は、水質、使用水量、水圧などにより異なりますが、衛生面より使用限界月数 (12 ヶ月) 以内で必ず交換してください。</p> <p>※体調を損なうおそれがあります。</p>	<p>12 ヶ月以内で交換</p> 
 (指示)	<p>適切な交換時期の前でも、浄水の出が悪くなったら浄水カートリッジの寿命です。そのまま使い続けず、必ず交換してください。</p> <p>※目詰まりしたまま使い続けると本体や浄水カートリッジ内側に過剰な水圧がかかり、故障の原因となります。</p>	 <p>浄水の出が 悪くなったら交換</p>

**⚠ 注意：正しくご使用いただくために**

 (プラグ抜く)	<p>長期間ご使用にならない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグをコンセントから抜いてください。                  ※誤操作や故障などによる予想しない事故の原因となります。</p>	
---	--	--

**⚠ 注意：凍結防止のために**

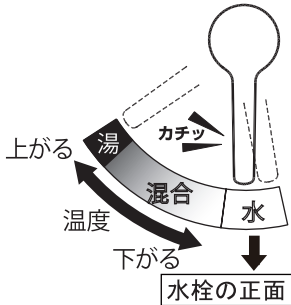
 (指示)	<p>凍結のおそれがあるときは、本誌内「凍結のおそれがある場合」をご参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。寒冷地の場合は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。                  ※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。                  ※凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。</p>	
 (指示)	<p>凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。                  ※水栓が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。配管部などに保温材を巻いてください。                  ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。</p>	
 (禁止)	<p>解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。                  ※水栓が発熱して破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

はじめに

# ご使用方法

この水栓は、よく使う正面のハンドル位置で「水」を出す省エネ設計です。湯を無意識に使うことがなく、無駄な給湯エネルギーを使いません。

## 温度の調節

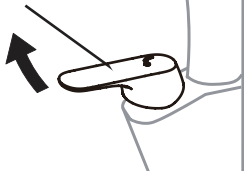


レバーハンドルが正面位置にあるとき水になり、左方向へまわすと、しだいに温度が上がります。

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

## 流量の調節

レバーハンドル



レバーハンドルの上げ具合で、湯水センサーと自動センサーで出る水の量を調節できます。

※レバーハンドルを下げると水が出ません。

- 旅行などで長時間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じてください。
- 【浄水タイプの場合】浄水センサーで出る浄水の量は一定となっており、流量調整はできません。
- 【エコセンサー付タイプの場合】エコセンサーで出る水の量は一定となっており、流量調整はできません。

## 注意

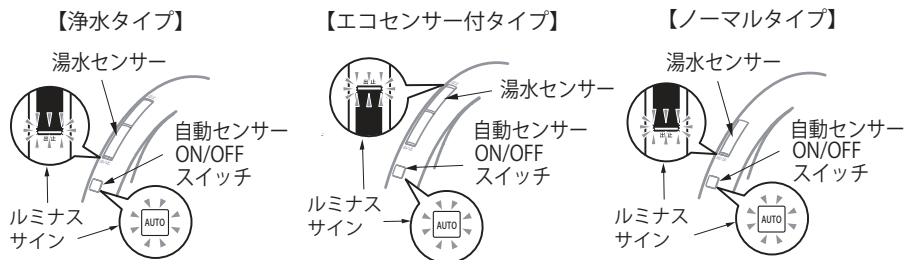
- 高温の湯をお使いのあとは、必ずレバーハンドルを水側に戻し、しばらく水を流してください。  
※次に使うとき高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。
- レバーハンドルを急にまわすと温度が急上昇することがありますので、ゆっくりとまわしてください。ご使用前に素手で適温であることを確かめてください。  
※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。






# ●ルミナスサインについて

ルミナスサインは、吐水温度やセンサーの作動状態を光でお知らせします。

「ルミナスサイン」は、光源に高輝度 LED を採用しています。LED の特性により、光の色や明るさにバラツキがあります。



※ノーマルタイプ：「SF-NAR452SY 型」はルミナスサイン機能はありません。

光の位置	光の表示	吐水の状況・状態
自動センサー ON/OFF スイッチ  	青点滅	約 30℃以下の水が出ている状態
	黄～オレンジ点滅	約 30℃～約 47℃の湯が出ている状態
	赤点滅	約 47℃以上になり吐水が自動に止まった状態 赤色の表示が消えるまで水を流し続けてください。
	消灯	センサーが反応せず水が出ない状態
湯水センサー  	青点滅	約 30℃以下の水が出ている状態
	黄～オレンジ点滅	約 30℃～約 47℃の湯が出ている状態
	赤点滅	約 47℃以上の湯が出ている状態
	消灯	センサーが反応せず水が出ない状態
浄水センサー  	青点滅	浄水が出ている状態
	紫点滅 紫点灯	長時間吐水されていない状態 光表示が青になるまで浄水を流し続けてください。

※メインバルブ内で測定されている温度になります。吐水される温度とは差があることがあります。

つかいかた

## 水を出す・止める

センサーに手や物をかざして水を出したり、止めたりします。

### センサーの特性

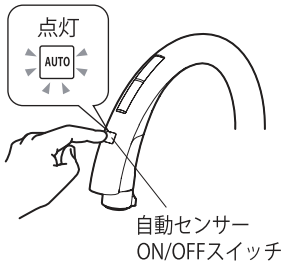
- 赤外線方式のため、赤外線を透過するガラスなど透明なものや、赤外線を吸収する黒に近い色のものの場合に、感知距離が短くなることがあります。
- 感知範囲外でも鏡面物や溜め水などに反応することがあります。
- 手袋をご使用の場合は明るい色のほうが感度が高まります。

※【食器洗いのコツと注意】(P.32)をご参照ください。

## ●自動センサー

自動センサーに手や食器などをかざすことで水の出し止めができます。

※ハンドシャワーを引き出しているときは、自動センサーは使用できません。



1. 自動センサー ON/OFF スイッチが ON 状態 (点灯) になっているか確認する。OFF 状態 (消灯) の場合、自動センサー ON/OFF スイッチを押す。



2. 自動センサーの下に手を差し出すと自動で水が出ます。
3. 自動センサーの下から手を離すと約 1 ~ 2 秒後に水が止まります。

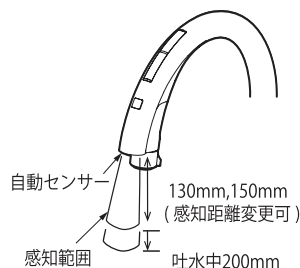
## 自動センサーの感知範囲

- 水が出ていないとき：130 mmもしくは、150 mm

※設定モード操作で切替えできます。

(P.37 参照)

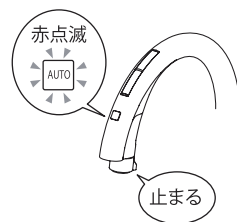
- 水が出ているとき：200 mm



- 感知範囲外でも鏡面物や溜め水に自動センサーが反応することがあります。

## 自動センサー使用時の高温止水機能

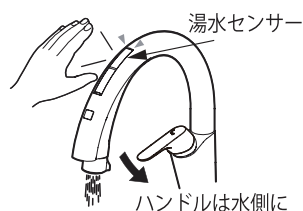
**自動センサー ON/OFF スイッチ：赤色点滅**  
メインバルブ内で測定している温度が約 47℃ 以上になると、安心機能（高温止水機能）により自動センサーで出ている湯が止まります。高温の湯を出したい場合は、湯水センサーをご使用ください。



### 【高温止水機能の解除方法】

- レバーハンドルを正面にまわし、湯水センサーに手をかざして赤色点滅が消えるまで水を流してください。
- もしくは、赤色点滅が消えるまで使用せず、放置してください。

※浄水センサー、エコセンサーでは解除できません。



※イラストは浄水タイプ

自動センサー ON/OFF スイッチを押して赤色点滅を消灯させても、高温止水機能は解除されません。

頻繁に高温止水機能により、湯が出せなくなる場合は、給湯器の設定温度を 42℃以下に設定してください。

## 出しっぱなし防止機能

自動センサー ON/OFF スイッチ：黄色点滅

自動センサーでの吐水が1分間続くと自動的に水が止まります。再び水を出したいときは、いったん手や物を感知範囲外に移動させ、再びセンサーの下に差し込んでください。



自動センサー ON/OFF スイッチを押すと黄色点滅は消灯します。

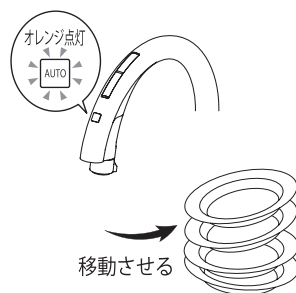
## 吐水防止機能

自動センサー ON/OFF スイッチ：黄色点滅

自動センサー ON/OFF スイッチが消灯状態で感知範囲内に物があるとき、自動センサー ON/OFF スイッチを ON にした場合、黄色点滅して水は出ません。

【吐水防止機能の解除方法】

- 感知範囲の外に物を移動させてから、自動センサー ON/OFF スイッチを ON にしてください。
- もしくは、タッチレスセンサーに手をかざして水を出してください。



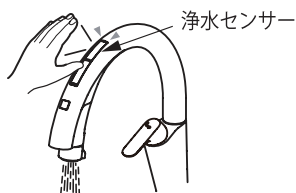
## ●タッチレスセンサー

センサーの上下が青色及びオレンジ色に点灯していることを確認してからご使用ください。

センサーが反応すると『ポン』と操作音がします。音を OFF にすることもできます。(P.37 参照)

※ SF-NAR452SY 型は操作音なし。

【浄水タイプ】



浄水センサーに手をかざすと浄水が出ます。  
(青点滅)

再度手をかざすと約 1 ～ 2 秒後に浄水が止まります。(青点灯)

レバーハンドルの位置に関係なく、一定流量の浄水が出ます。

### 注意

紫点滅、紫点灯しているときは、浄水を長時間使用していない表示です。

ルミナスサインが青色になるまで浄水を流し続けてください。また、その浄水は使用しないでください。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生する場合があります。



6208845816001

青色になるまでの吐水時間	経過時間
1 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 日間 (48 時間) 吐水しなかった</li> <li>• カートリッジ交換時にリセットした</li> <li>• 停電時や AC アダプターをコンセントから抜いた</li> </ul>
10 秒	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日の使い始め</li> <li>• 前回のご使用から 5 時間以上吐水しなかった</li> </ul>
なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前回のご使用から 5 時間以内に吐水した</li> </ul>



湯水センサーに手をかざすと水が出ます。

(青～赤点滅)

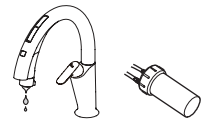
再度手をかざすと約 1 ～ 2 秒後に水が止まります。(オレンジ点灯)

レバーハンドルで温度、流量の調整が出来ます。

- 浄水センサー、湯水センサーに同時に手をかざした場合は、湯水センサーが感知します。
- 止め忘れた場合でも、10 分水が出たあと、自動的に水が止まります。
- 自動センサーで水を出しているときに浄水センサーに手をかざした場合、一度水が止まり、浄水が出ます。

### 注意

浄水の水切れが悪いのは、通水時に膨張したカートリッジ内のろ材が、止水時にゆっくり収縮し水が押し出されるためで故障ではありません。止水後、数秒で止まります。



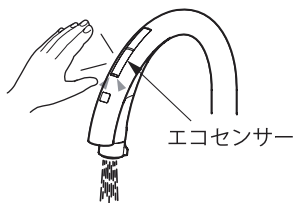
## 【エコセンサー付タイプ】



湯水センサーに手をかざすと水が出ます。  
(青～赤点滅)

再度手をかざすと約1～2秒後に水が止まります。(オレンジ点灯)

レバーハンドルで温度、流量の調整が出来ます。



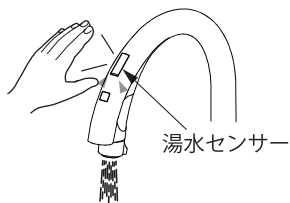
エコセンサーに手をかざすと水が出ます。  
(青点滅)

再度手をかざすと約1～2秒後に水が止まります。(青点灯)

レバーハンドルの位置に関係なく、一定流量の水が出ます

- エコセンサー、湯水センサーに同時に手をかざした場合は、エコセンサーが感知します。
- 止め忘れた場合でも、10分水が出たあと、自動的に水が止まります。
- 自動センサーで水を出しているときにエコセンサーに手をかざした場合、一度水が止まり、再度エコセンサーに反応した水が出ます。

## 【ノーマルタイプ】



湯水センサーに手をかざすと水が出ます。  
(青～赤点滅)

再度手をかざすと約1～2秒後に水が止まります。(オレンジ点灯)

レバーハンドルで温度、流量の調整が出来ます。

- 止め忘れた場合でも、10分水が出たあと、自動的に水が止まります。
- 自動センサーで水を出しているときに湯水センサーに手をかざした場合、一度水が止まり、再度水が出ます。

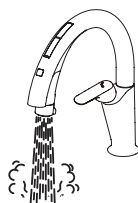
### 【3 タイプ共通】

次の点に注意して操作してください。

#### 注意

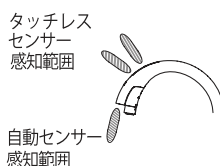
- ご使用の前に素手で適温であることを確かめてください。

※高温の湯が出てヤケドをするおそれがあります。



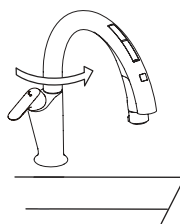
- 感知エリアに障害物がないようにしてください。

※誤感知の原因となります。

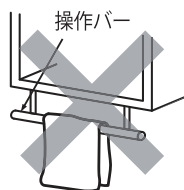


- 昇降キャビネットを下げるときにセンサーが感知する場合、センサーが反応しないところまで吐水口部をまわしてからキャビネットを下げてください。

※このとき、吐水口部をシンク外に飛び出させないように納めてください。



- 感知エリア内の昇降キャビネットの操作バーにタオルなどを掛けしないでください。





# ●食器洗いのコツと注意

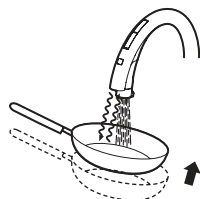
※イラストは「浄水タイプ」を例に記しています。

【包丁やステンレスなどの鏡面物、ガラスなどの透明物を洗うとき】



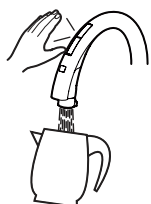
自動センサーに平行になるように差し出します。

【黒色のものを洗うとき】



自動センサーに少し近づけます。

【底が深い鍋やポットを洗うとき】



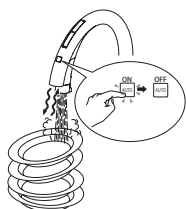
タッチレスセンサーの使用をおすすめします。

【熱い湯を使うとき】



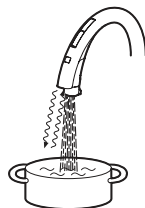
自動センサーでは約 47℃以上の湯は出ない仕様になっています。タッチレスセンサーの使用をおすすめします。

【シンクに食器を置くととき】



自動センサー付近には食器は積み上げないでください。センサーが感知して水が出る可能性があります。食器を移動するか、自動センサー ON/OFF スイッチを OFF にしてください。

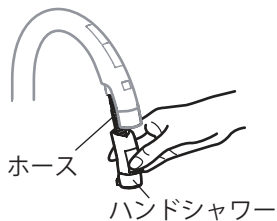
【シンクに水を溜めた鍋やステンレス製のものを置くとき】



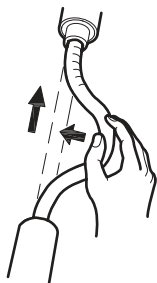
自動センサーの感知範囲の外に置いてセンサー反応して水が出る可能性があります。吐水口を避けるか、自動センサー ON/OFF スイッチを OFF にしてください。

## ハンドシャワーの引出し

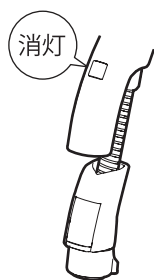
ハンドシャワーは引き出して使用できます。



ハンドシャワーが収納しにくいときは、シャワーホースに手をそえてください。



寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、湯または水を通水すると、入りやすくなります。



ハンドシャワーを引き出しているときは、自動センサーは使用できません。

## 注意

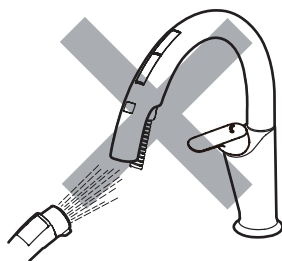
- 高温の湯をお使いのときはホースが高温となっています。直接、触れないようにしてください。

※ヤケドをするおそれがあります。



- ハンドシャワーの引出口やレバーハンドル周辺に直接水をかけないでください。

※キャビネット内に水が浸入するおそれがあります。



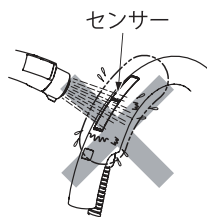
- シンクの外に水を出さないでください。

※家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- センサーに直接水や洗剤をかけないでください。

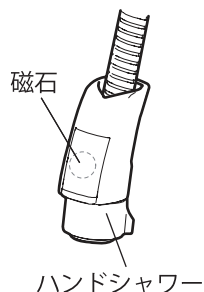
※誤操作や故障の原因となります。またキャビネット内に水が浸入するおそれがあります。



## 注意

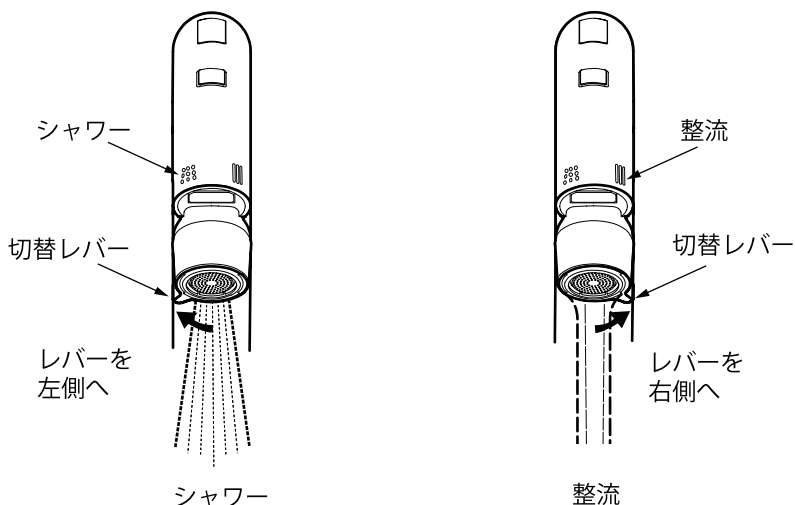
- ハンドシャワーに磁石を使用しています。磁石の力は微弱ですが、鉄製のものなどは吸着する場合があります。時計などの精密機器やペースメーカーなどがハンドシャワー上部に触れないように注意してください。

※時計の故障やペースメーカーの乱れが生じるおそれがあります。



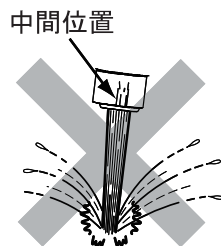
## 整流・シャワーの切替え

吐水口先端の切替レバーをまわすことで、整流とシャワーを切り替えられます。



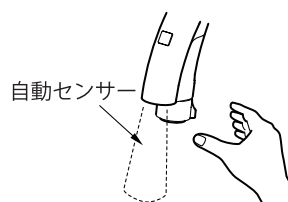
## 注意

- 切替レバーは、確実にシャワーもしくは整流の位置に切り替えてください。  
※中間位置で止めると水が飛び跳ね、衣服が濡れるおそれがあります。



- 切替の際は、自動センサーが反応しないように、手を後方にまわして操作してください。

自動センサー ON/OFF スイッチを OFF にしてから切替を行うと、不意な吐水の心配がありません。



- 先端からの水だれは水栓金具内部にたまった少量の水が排出されるため、故障ではありません。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生  
する場合があります。



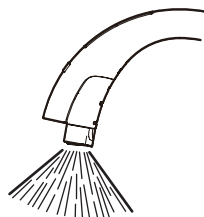
6290209585001

- 切替レバーをシャワー位置に切り替える際に、操作が重く感じることがありますが、構造上パッキンをつぶすための抵抗感であり、故障ではありません。

※整流位置に切り替える際は、抵抗感がありません。

### 【ひろびろシャワー】(NAH4 \* 2SY 型)

シャワーが下にいくほど広がるため、水を当てる高さを変えることで洗うものに適したシャワーの幅が選べます。そのため、小さなものから大きなものまで効率よく洗えるシャワーです。

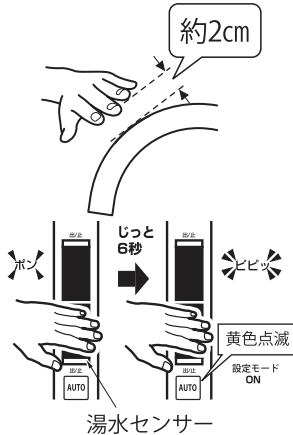


## センサーのモード切替え

次の表の設定変更ができます。

機能	モード設定
タッチレスセンサーの操作音	音 ON / 音 OFF
自動センサーの感知距離	130 mm / 150 mm

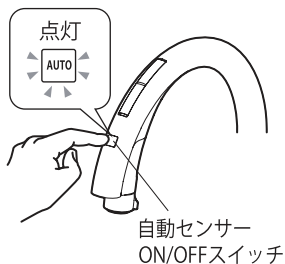
次の手順で設定を変更してください。



1. 湯水センサーから約 2cm 離れたところに 6 秒間手をかざす。

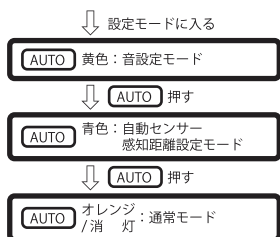
この間に、水が出る⇒水が止まる⇒自動センサー ON/OFF スイッチが黄色点滅 (設定モード) になります。  
※ SF-NAR452SY 型は青色点滅  
30 秒間何も操作を行わないと、通常の状態に戻ります。

※イラストは浄水タイプ

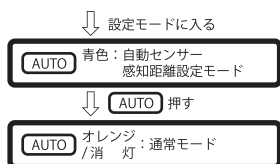


設定モード中に自動センサー ON/OFF スイッチを押す度に、自動センサー ON/OFF スイッチの色が変わります。

変えたい設定モードの色にして、設定変更をしてください。



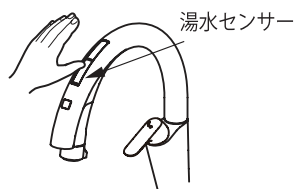
※イラストは浄水タイプ



※ SF-NAR452SY 型

SF-NAR452SY 型は、「自動センサーの感知距離」のみ設定の切替が可能です。

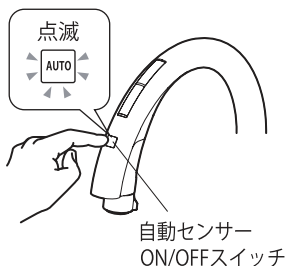
設定モード時は、自動センサー ON/OFF スイッチが青色点滅になります。



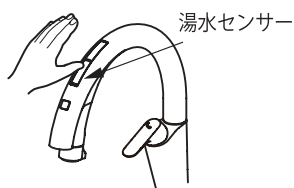
※イラストは浄水タイプ

- 2.【音設定を変えたい場合】黄色点滅の状態です湯水センサーに手をかざすと、黄色点滅から黄色点灯に変わる。⇒ タッチレスセンサーの操作音が「OFF」に切り替わる。

音 ON: 黄色点滅 (初期設定)  
音 OFF: 黄色点灯



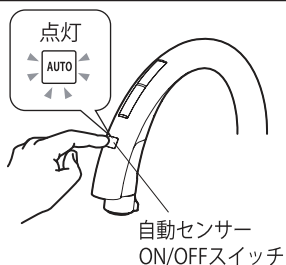
3. 自動センサー ON/OFF スイッチを押すとスイッチの色が青色点滅に変わる。



4. 【自動センサーの感知範囲を変更する場合】 青色点滅の状態で湯水センサーに手をかざすと、青色点滅から青色点灯に変わる⇒感知距離が 150mm になる。

※イラストは浄水タイプ

130mm: 青色点滅 (初期設定)  
150mm: 青色点灯



5. 自動センサー ON/OFF スイッチを押してスイッチをオレンジまたは消灯にする。

- 2～4の操作の間にセンサーの操作をしても水の出し止めなどはできません。
- 不意に設定変更モード (黄色点滅 / 青色点滅) になってしまった場合は、30 秒間操作を行わないでください。
- 湯水センサーと浄水 (エコ) センサーに同時に手をかざすと、設定変更モード (黄色点滅 / 青色点滅) になりません。湯水センサーの上に手をかざしてください。



## 凍結のおそれがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。凍結による破損は、保証期間内でも**有料修理**となります。凍結のおそれがある場合や、長期間使用しないときは、急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

### 凍結予防のしかた

水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお氷点下になることが予想される場合は次の対策をしてください。

#### 一般地の場合

凍結のおそれがある場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合があります。

- 少量の糸引き状の水を出したままにする。  
※シングルレバー水栓の場合は混合位置にしてください。給湯器を着火させる必要はありません。
- 配管などに保温材を巻く。



#### 寒冷地の場合

凍結のおそれがある場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

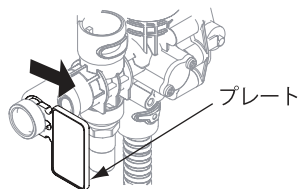
##### 準備

ご自宅の配管の水抜きをしてください。

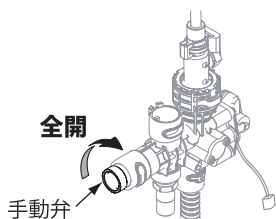
必ず実行してください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

## ●浄水タイプの場合

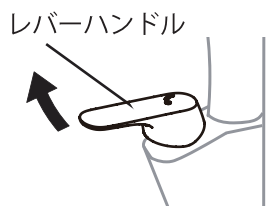
1. 水抜きするとき、水が出ます。水を受けるボウルなどを用意し、レバーハンドルは下げておく。



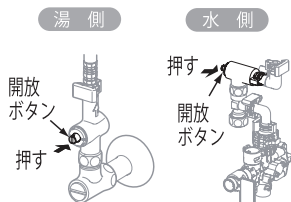
2. シンク下の浄水バルブとメインバルブそれぞれのプレートを右側にスライドさせ取り外す。



3. それぞれのバルブの手動弁を矢印の方向いっぱいまでまわす。



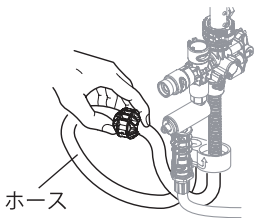
4. レバーハンドルを上げる。



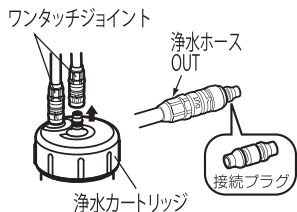
5. 水側、湯側の止水栓のそれぞれの逆止弁ソケットの開放ボタンを押す。

6. レバーハンドルを全開状態で数回、水側から湯側までまわす。そのまま開けた状態にしておく。

7. 切替レバーを整流にし、ハンドシャワーを引き出し、振って水をきる。



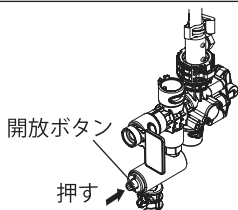
8. ハンドシャワーを元に戻し、シンク下でメインバルブのシャワーホースを振ってホース内の水を抜く。



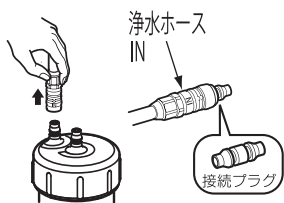
9. カートリッジの下にタオルなどを置き、浄水ホース (OUT) をカートリッジから外し、接続プラグを接続する。

OUT を先に外してください。逆流するおそれがあります。

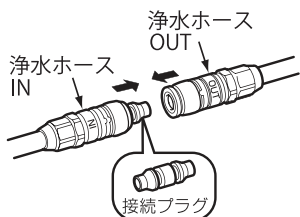
接続プラグを取り付けないと水が抜けません。



10. メインバルブの逆止弁ソケットの開放ボタンを押し、浄水ホースを振って水を抜く。



11. 浄水ホース (IN) をカートリッジから外し、浄水ホース (OUT) から接続プラグを外す。浄水ホース (IN) と接続プラグを接続する。浄水バルブの逆止弁ソケットの開放ボタンを押し、浄水ホースを振って水を抜く。



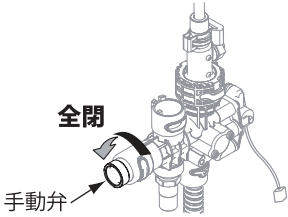
12. 浄水ホース (IN) と浄水ホース (OUT) を接続プラグでつなぐ。

レバーハンドル

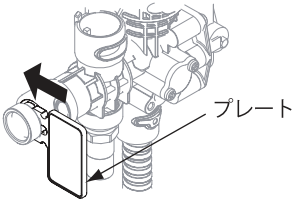


13. レバーハンドルを下げる。

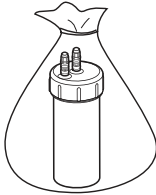
全閉



14. メインバルブ、浄水バルブの手動弁を矢印の方向いっぱいまでまわす。



15. プレートを取り付ける。

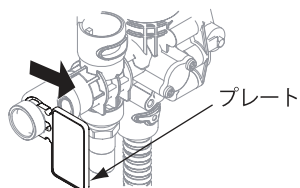


16. 取り外した浄水カートリッジは、ビニール袋などに入れ、冷蔵庫など冷凍のおそれがない場所に保管する。

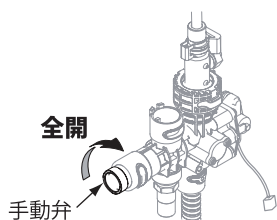
17. 再通水するときは、浄水カートリッジを取り付け、レバーハンドルを上げて使用する。

## ●エコセンサー付タイプ・ノーマルタイプの場合

1. 水抜きするとき、水が出ます。水を受けるボウルなどを用意し、レバーハンドルは下げておく。

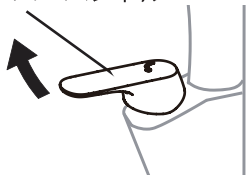


2. シンク下のメインバルブ（エコセンサー付タイプは給水バルブと2カ所）のプレートを右側にスライドさせ取り外す。

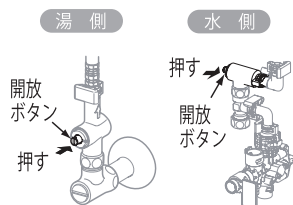


3. メインバルブ（エコセンサー付タイプは給水バルブと2カ所）の手動弁を矢印の方向いっぱいまでまわす。

レバーハンドル



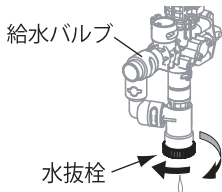
4. レバーハンドルを上げる。



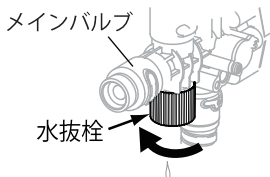
5. 水側、湯側の止水栓のそれぞれの逆止弁ソケットの開放ボタンを押す。

※イラストはエコセンサー付タイプ

【エコセンサー付タイプ】



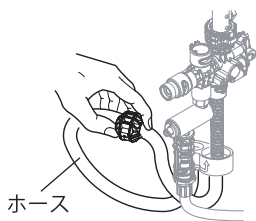
【ノーマルタイプ】



6. 水抜栓の下にボウルなどを置き、給水バルブ (エコセンサー付タイプの場合)、メインバルブ (ノーマルタイプの場合) の水抜栓を矢印の方向に 2 ~ 3 回転まわす。

7. レバーハンドルを全開状態で数回、水側から湯側までまわす。そのまま開けた状態にしておく。

8. 切替レバーを整流にし、ハンドシャワーを引き出し、振って水をきる。



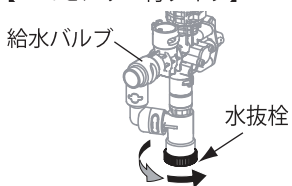
レバーハンドル



9. ハンドシャワーを元に戻し、シンク下でメインバルブのシャワーホースを振ってホース内の水を抜く。

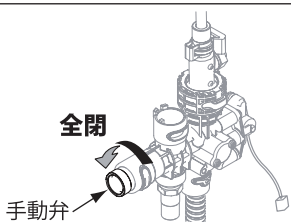
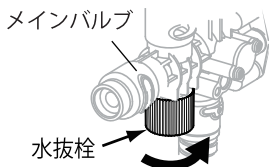
10. レバーハンドルを下げる。

【エコセンサー付タイプ】

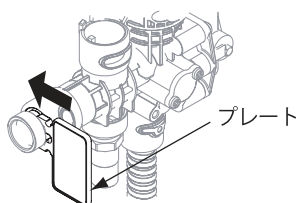


11. 給水バルブ (エコセンサー付タイプの場合)、メインバルブ (ノーマルタイプの場合) の水抜栓を矢印の方向いっぱいまでまわす。

【ノーマルタイプ】



12. メインバルブ (エコセンサー付タイプは給水バルブと2カ所) の手動弁を矢印の方向いっぱいまでまわす。



13. プレートを取り付ける。

14. 再通水するときは、レバーハンドルを上げて使用する。

# 浄水カートリッジについて

浄水性能を発揮するため、定期的なカートリッジ交換が必要です。

## 浄水カートリッジの交換時期の目安

浄水カートリッジの交換時期の目安は、12 か月または浄水の総使用量 10,000L です。

浄水カートリッジ交換のとき、ラベルに取付日・交換日の日付を記入し、次回交換時の目安にしてください。

### 注意

浄水カートリッジの交換時期の目安(12 ヶ月)は、水質、使用水量、水圧などにより異なりますが、衛生面より 12 ヶ月以内で必ず交換してください。

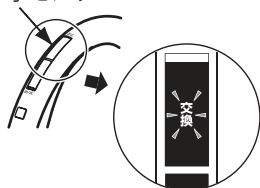
※体調を損なうおそれがあります。

次の症状が出てきたら、浄水カートリッジを交換してください。

- においや変な味がする。(除去能力の低下)
- 浄水の出が悪くなった。(浄水カートリッジの目詰まり)
- 浄水の水切れが悪くなった。(浄水カートリッジの目詰まり)

## ●交換時期の表示

浄水センサー



浄水カートリッジの交換時期が近づく(11.5 か月または 9,600L に達したとき)と『交換』の表示が点滅します。

12 か月または 10,000L に達すると『交換』の表示が点灯に変わります。



## 浄水カートリッジの購入方法

交換用浄水カートリッジはLIXIL カートリッジショップのみで販売しております。

以下インターネットからのご注文がおすすめですが、商品同梱のはがきや電話でもご注文が可能です。

	インターネット	<a href="https://s.lixil.com/shop/">https://s.lixil.com/shop/</a> 受付時間:24時間	
---	---------	--	---

	電話でお申し込み  0120-1946-01	受付時間 9:00~17:00 (月~金) ※土日祝、年末年始、夏期休暇は除く
---	--	--

	ハガキ	LIXILカートリッジショップ 行
---	-----	-------------------

・コースや金額など、詳しくは商品同梱のご案内チラシをご覧ください。  
オンラインショッピングサイトで浄水カートリッジの模倣品が販売されているケースが報告されており、ご注意願います。

### ご案内

- ・水栓本体購入時の付属浄水カートリッジは、JF-45N です。
- ・JF-45N と JF-43N の製品寸法は同じ、どちらでも取付可能です。
- ・JF-45N は除去性能が向上しているため、ろ過流量が JF-43N より少ない仕様になっています。

## 浄水カートリッジの交換方法

浄水カートリッジの取付けや交換は、以下の手順で行ってください。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生する場合があります。



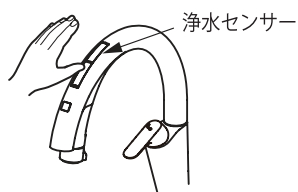
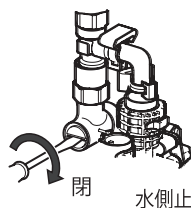
6314464667112

### 注意

必ず当社専用浄水カートリッジをご使用ください。

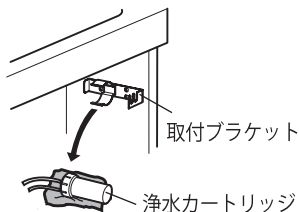
※漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### ●手順1：浄水カートリッジを外す

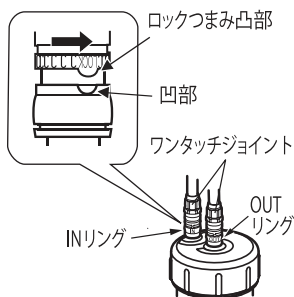


1. 水側の止水栓を矢印の方向いっぱいにもわす。

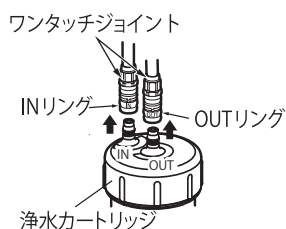
2. 浄水センサーに手をかざして水が出ないことを確認する。



3. 浄水カートリッジを取付ブラケットから外し、下に雑巾やタオルを引く。

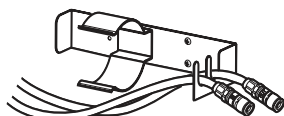


4. 浄水ホースのワンタッチジョイントのロックつまみをまわし、凹部と凸部を合わせる。



5. OUTリング、INリングを矢印の方向へ引っ張り、浄水カートリッジから取り外す。

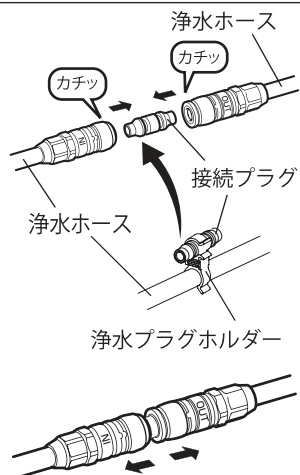
接続プラグから外れない場合は、ワンタッチジョイントのロックつまみの位置を確認してください。



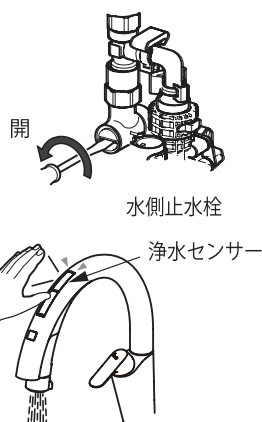
6. 浄水ホースを取付ブラケットのくぼみに引っ掛ける。

古い浄水カートリッジは、各自治体の区分に従って捨ててください。区分が不明な場合は、燃えないゴミとして捨ててください。(浄水カートリッジは、樹脂・セラミック・活性炭・不織布で構成されており、分解できません。)

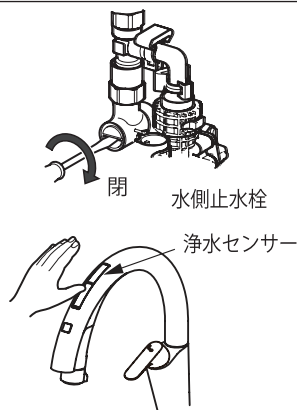
## ●手順 2：浄水ホースを洗淨する



1. 接続プラグホルダーから接続プラグを外し、浄水ホースに接続する。軽く引いて、抜けないことを確認する。

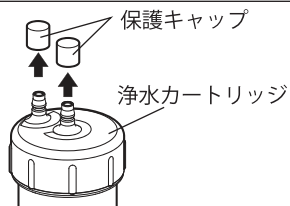


2. 水側の止水栓を矢印の方向にまわして、浄水センサーに手をかざして水を出し、ホース内を洗淨する。



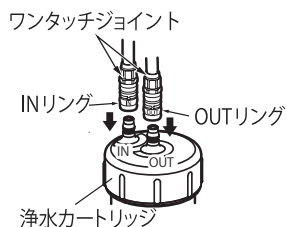
3. 水側の止水栓を矢印の方向にまわして、浄水センサーに手をかざし、水が出ていないことを確認する。

## ●手順3：浄水カートリッジを交換する



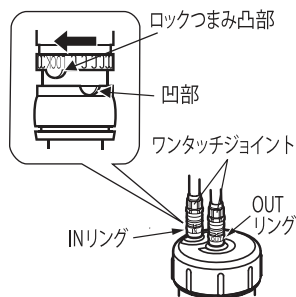
1. 新しい浄水カートリッジの保護キャップ (2 個) を取り外す。

ラベルに取付日・交換日を記入してください。



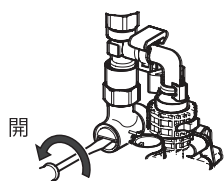
2. 浄水ホースから接続プラグを外し、浄水ホースのワンタッチジョイントのリングの色と浄水カートリッジのシールの色を合うように浄水カートリッジに取り付ける。

接続プラグは接続プラグホルダーに取り付け大切に保管してください。

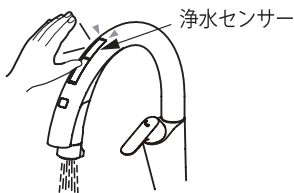


3. 浄水ホースのワンタッチジョイントのロックつまみをまわし、凹部と凸部をずらす。

ワンタッチジョイントを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。



水側止水栓



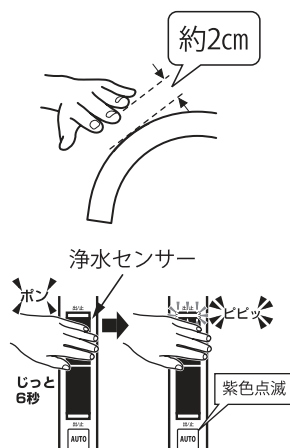
4. 水側の止水栓を矢印の方向にまわし、湯水センサーに手をかざし、流量を調節する。

5. 約 1 分間浄水を流し、接続部から水漏れがないことを確認する。

## ●手順 4：交換の表示をリセットする

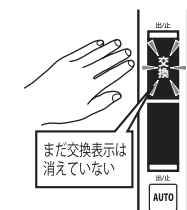
次の 1 ～ 3 までの操作は 60 秒以内で行ってください。

60 秒間で操作が完了しない場合、1 ～ 3 の操作をやり直してください。

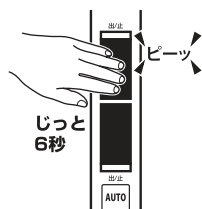


1. 浄水センサーから約 2 センチ離れたところに、6 ～ 7 秒間手をかざす。

JF-43N, 45N の場合：紫色点滅に変わります。

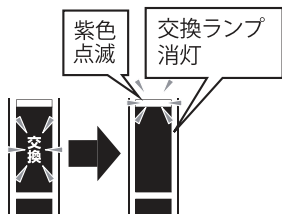


2. 浄水センサーから手を離す。

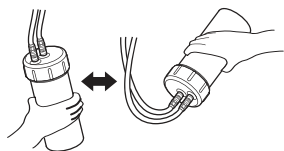


3. 再度、浄水センサーから約 2 センチ離れたところに、6 ～ 7 秒間手をかざす。

"ピーッ" という音がします。



4. リセットが完了すると、浄水が出ます。交換の表示が消えたことを確認して、浄水センサーに手をかざして、浄水を止める。



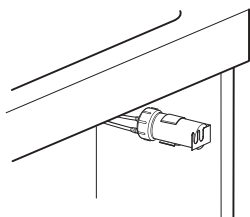
5. 10 分間浄水を流しながら、浄水カートリッジを上下に数回ひっくり返す。

カートリッジの空気を抜き、浄水能力を安定させるために行います。吐水状態が乱れたり、水の止まりが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。使用していくと状態が緩和されます。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生する場合があります。



6290211832001



6. 浄水カートリッジを取付ブラケットに取り付ける。

※不意に自動センサー ON/OFF スイッチが紫色または緑色に点滅した場合は、60 秒間操作を行わないでください。

動画はコチラ！  
※別途通信料が発生する場合があります。

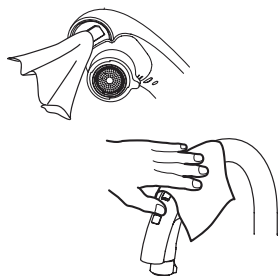


6290211049001

# 日常のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

自動センサー、タッチレスセンサーの表面は汚れ、洗剤、水滴などが付着すると誤作動（勝手に水が出るなど）の原因となります。特に注意して日常のお手入れを行ってください。



## 布などを使用したお手入れ

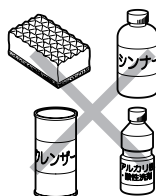
- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後水拭きし、から拭きしてください。
- 水栓の裏側や狭い隙間などは、30cm程度の薄い布の両端を持ち左右に動かしながら拭き取ってください。
- お手入れ後は、水滴や汚れ、洗剤を残さないように、から拭きしてください。

### 重要

商品の表面を傷めるおそれのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤、カビ取り剤
- 研磨粒子入スポンジ、ナイロンたわし、ブラシなど
- シンナー、ベンジンなどの溶剤

※ヒビ割れや変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。





## 【センサー部】

- センサーに直接水または洗剤をかけないでください。  
※誤作動や破損、故障の原因となります。
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、メラミンフォーム、ブラシなどは使用しないでください。  
※センサーにキズがつくと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## 【センサー部以外の部分】

- メラミンフォームをご使用の際は、こすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 着色されたうがい薬などが商品に付いた場合は、商品表面の変色の原因となりますので、すぐに水拭きし、から拭きしてください。

変色やキズがついてしまった場合は、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

## ハンドル部の掃除

湯水表示部に汚れがたまった場合は、水で濡らした布や、綿棒などで拭き取ったあと、最後から拭きしてください。

先のとがったもので引っかいたり、強くこすったりしないでください。

※湯水表示部に傷がついたり、はがれたりする場合があります。



湯水表示部

# 定期的なお手入れ

長くご使用いただくために定期的なお手入れをおすすめします。

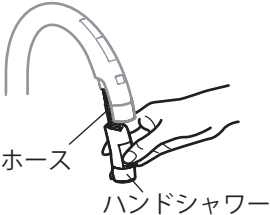
## 吐水口の掃除

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除をしてください。

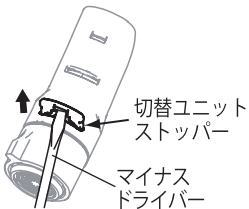
レバーハンドル



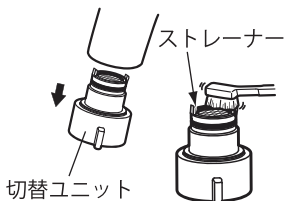
1. レバーハンドルを閉じる。



2. ハンドシャワーを引き出す。



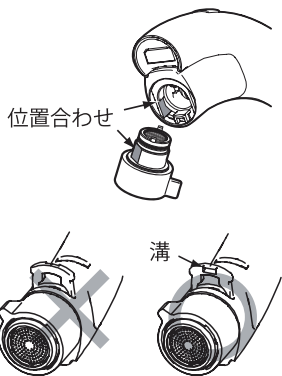
3. ハンドシャワーの裏側にある切替ユニットストッパーの溝部にマイナスドライバーなどを掛けて引き抜く。



4. 切替ユニットを外して、ストレーナーについたゴミを歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とす。

ハンドシャワー内部にゴミが付着している場合は取り除いてください。

ハンドシャワー内に磁石が入っているため、金属製のゴミなどが付着することがあります。



5. 位置合わせの向きを合わせ、切替ユニットを差し込む。

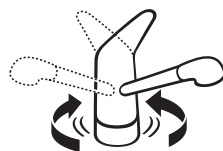
6. 切替ユニットストッパーの溝が吐水口側になるようにはめる。

取付後に、切替ユニットが抜けてこないことを確認してください。

## 吐水口部の操作性 (月 1 回以上)

ときどき吐水口部をまわしてください。

吐水口部を長期間まわさずに使用すると、回転部に水アカなどが付着し、まわりにくくなります。無理にまわそうとすると、配管に負荷がかかり、漏水の原因となります。



## 水まわりの漏水 (年 2 回以上)

洗面台やキッチンキャビネット内の水まわりの漏水がないか点検してください。

見えない部分は特に注意が必要です。

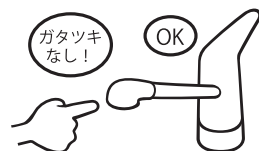
劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



## 水栓本体のガタツキ (年 2 回以上)

水栓本体のガタツキがないかを確認してください。

水栓本体にガタツキがあるままご使用になると、配管に負担がかかり、漏水の原因となります。



## 散水板の掃除

日頃から散水板の表面を水拭きしてください。

散水板が汚れていると、水の流れが乱れたり、水切れが悪くなります。年に1回程度、散水板の穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ってください。

散水板に湯アカやゴミがたまると、水の量が少なくなります。

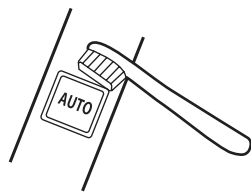
- つまようじで取らないでください。  
※詰まるおそれがあります。
- 安全ピンの取扱いに注意してください。  
※ケガをするおそれがあります。
- 強い力で刺さないでください。  
※散水板の穴が変形したり、内部が破損するおそれがあります。



## 自動センサー ON/OFF スイッチの掃除

スイッチのまわりを歯ブラシなどで軽くこすって汚れを取り除いてください。

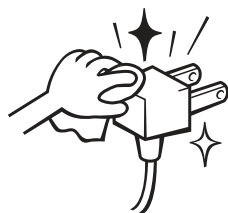
汚れがたまるとスイッチ操作が重くなる場合があります。



## 電源プラグの掃除 (月1回以上)

電源プラグに付いたホコリを取り除いてください。

電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



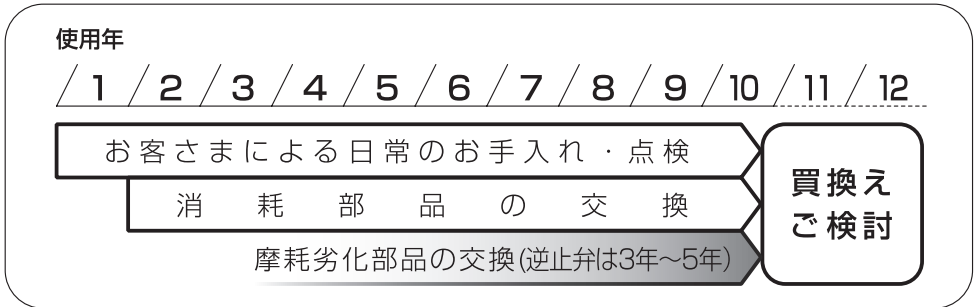
## 定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくため定期的な部品交換が必要です。取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターへ修理をご依頼ください。  
※部品交換の際は、商品状況により摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

### 摩耗劣化する部品の交換

- 部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因となるため交換が必要です。  
※保証期間外の各部品交換は、**有料**になります。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）  
例）逆止弁、ハンドル、ハンドシャワー、シャワーホース、ソケット部、バルブ部（シングルレバーカートリッジ、バルブカートリッジなど）、電装品（電磁弁、センサーなど）、パッキンなど

### 〈定期的な点検・部品交換のめやす〉



**逆止弁は3～5年を目安に交換してください。**

逆止弁が正常に機能なくなると、水が逆流するおそれがあります。また漏水など予期しない不具合の原因となります。

【浄水タイプ】

湯側止水栓 1 カ所、浄水バルブ 2 カ所 ( 寒冷地仕様は 1 カ所 )、メインバルブ 1 カ所

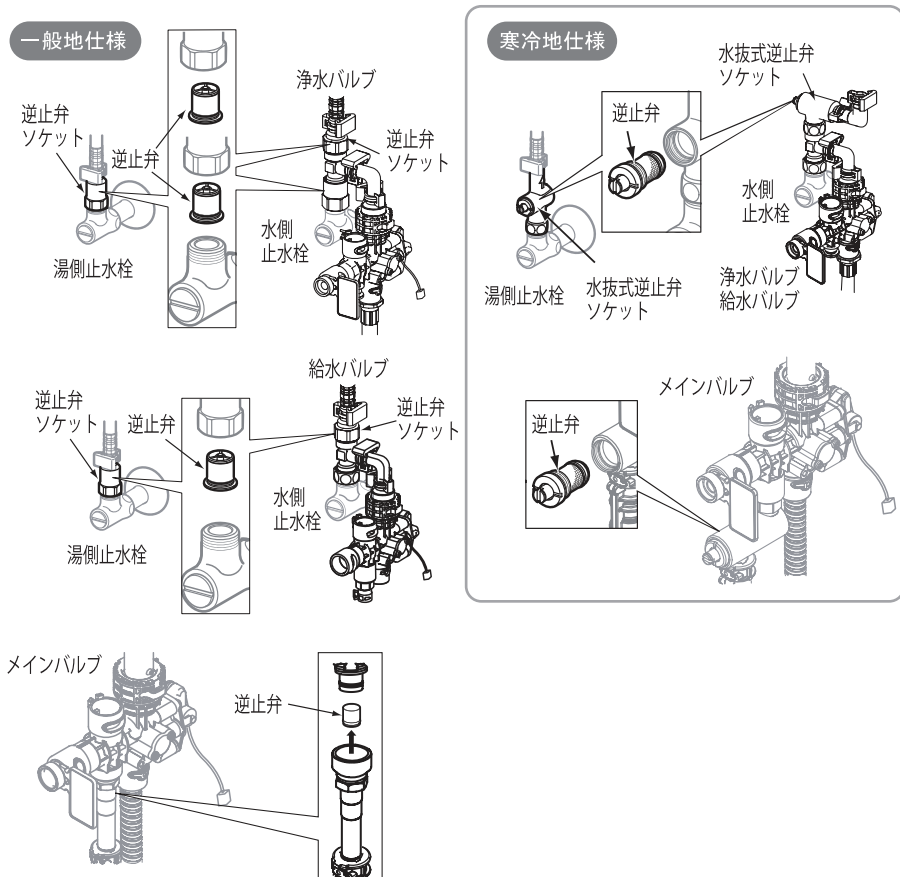
【エコセンサー付タイプ】

湯側止水栓 1 カ所、給水バルブ 1 カ所、メインバルブ 1 カ所

【ノーマルタイプ】

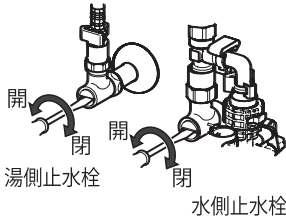
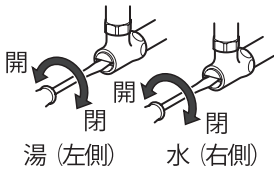
湯側止水栓 1 カ所、水側止水栓 1 カ所

※ノーマルタイプの水側止水栓は、湯側止水栓と同じ形です。



お手入れ

# 修理を依頼される前に



漏水している場合は、水側と湯側の止水栓を閉めてください。

その後、「アフターサービスについて」をご参照いただき、修理を依頼してください。

こちらから WEB 取扱説明書もご覧いただけます。

浄水タイプ	エコセンサー付	ノーマルタイプ
		

水が止まらない		
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	P.55
センサー近辺に障害物はありませんか？	センサーの感知範囲にある障害物を取り除いてください。	P.25
メインバルブの手動弁が開いていませんか？	手動弁を反時計回りに止まるまで、まわして閉じてください。	P.91

水が止まらない		
浄水センサーまたはエコセンサーが点滅していませんか？	浄水センサーまたはエコセンサーが点滅しているときは吐水状態になっています。それぞれもう一度センサーに手をかざして止水してください。浄水センサー及びエコセンサーは、レバーハンドルを完全に下げてもセンサーに手をかざすと、吐水する構造となっています。	P.28
【浄水タイプの場合】 浄水がポタポタ落ちる	浄水カートリッジ内に空気が混入している可能性があります。約 10 分間浄水を出しながら、浄水カートリッジを上下に数回ひっくり返してください。	P.53

水を止めたあとに少しの間水が垂れる		
故障ではありません。	切替ユニット内にたまった水が出てくるためです。	—

吐水口からポタポタ水が垂れる		
すぐに止まる場合は、内蔵の圧力逃し弁が作動したため故障ではありません。	圧力逃し弁とは、他所の水栓や洗濯機などの使用時に起こる急激な圧力上昇から水栓を保護するための弁で、作動すると吐水口から数滴の水が垂れることがあります。	—

温度が安定しない、温度調節がうまくできない		
給湯機器は正常に作動していますか？	給湯器が正常に作動している場合でも、給湯器と水栓の配管距離が長い場合は、湯が出てくるまで時間がかかる場合があります。湯の位置にして水を出したまま、しばらくお待ちください。	—
温度調節ハンドルを水側にしたときの流量が少なくありませんか？	流量が正しく調整されていない可能性があります。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、湯側・水側の流量調節栓を調整してください。	P.69



温度が安定しない、温度調節がうまくできない		
【ガス給湯器をご使用の場合】 流量を絞りすぎていませんか？	適切な流量になるまで止水栓もしくは水栓のハンドルを開いてください。	P.69
【ガス給湯器をご使用の場合】 水温は高くありませんか？	給湯器の設定温度を少し上げてください。	—
レバーハンドルは十分に開いていますか？	湯の流量が少ないと、給湯器が点火しません。レバーハンドルを十分に開けてご使用ください。	—
湯水の止水栓は調整されていますか？	湯の流量が少ないと、給湯器が点火しません。また水圧が高いか、湯水の圧力に差があることも考えられます。「止水栓による流量調整」をご参照いただき、湯側・水側の止水栓を調整してください。	P.69
レバーハンドルの位置は湯側にありますか？	湯が出る位置までレバーハンドルを湯側にまわしてください。もしくは、レバーハンドルを湯側全開にしてください。	P.22
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.57 P.70 P.74 P.77
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.59
浄水センサーまたはエコセンサーが点滅していませんか？	浄水センサーまたはエコセンサーが作動しています。浄水センサー、エコセンサーではお湯は出ません。レバーハンドルの位置に関わらず水が出る構造となっています。	P.28

水が出ない		
湯水の止水栓は十分に開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.69

水が出ない		
断水中にはありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
停電中にはありませんか？	回復するまでお待ちいただくか、「停電及びセンサー故障時の応急処置」をご参照いただき対処してください。	P.91
コンセントは通電していますか？	停電ではないのに通電していない場合は、ブレーカーを確認してください。停電の場合は、「停電及びセンサー故障時の応急処置」をご参照いただき対処してください。	P.91
電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	—
センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	P.55
手以外のものをセンサーにかざしていませんか？	透明なガラス・プラスチック製品、ステンレス製及びめっきを施したものの、黒に近い色のものは、感知しなかったり、感知距離が短くなったりします。感知範囲内に手をかざしてご使用ください。	P.25
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.57 P.70 P.74 P.77
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.59
レバーハンドルが閉じていませんか？	レバーハンドルを開けてください。	P.10
自動センサー ON/OFF スイッチが消灯していませんか？	自動センサー ON/OFF スイッチが OFF になっている、またはハンドシャワーが外れている可能性があります。自動センサーの ON/OFF スイッチを ON にする、またはハンドシャワーをはめてください。	P.25

水が出ない		
自動センサー ON/OFF スイッチが赤色点滅していませんか？	メインバルブ内の温度が約 47℃以上になっています。レバーハンドルを水側にして湯水センサーで水を出し、温度を下げてください。	P.25
自動センサー ON/OFF スイッチが黄色点滅していませんか？	出しっぱなし防止機能が働いています。感知範囲内に物がある場合は移動させて、自動センサー ON/OFF スイッチを押してください。	P.25
自動センサー ON/OFF スイッチが黄色または緑色または青色または紫色に点滅していませんか？	設定モードか交換時期リセットモードになっています。約 60 秒間センサーの操作を行わないでください。通常モードに戻ります。	P.53
タッチレスセンサーまたは自動センサー ON/OFF スイッチが白色点滅していませんか？	コントロールボックスのコネクターを確実に差し込んでください。接続されている場合は故障の可能性がありますので、修理を依頼してください。	P.90

水が止まらない（勝手に吐水する）		
センサーの表面が汚れていませんか？	センサーの表面が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	P.55
センサーの感知範囲内に障害物はありませんか？	センサーの感知範囲内にある障害物を取り除いてください。	P.25

水が出たり止まったりを繰り返す		
センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴がついていませんか？	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴がついていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布で拭き取ってください。	P.55

水が出たり止まったりを繰り返す		
自動センサーの下に水を溜めていたり、鏡のように反射するものがありますか？	センサーの下から移動させるか、自動センサー ON/OFF スイッチを OFF にしてください。	P.25
すぐに水が止まる		
タッチレスセンサーに3秒以上手をかざし続けていませんか？	水が出たら手をセンサーから離してください。	—
流量が少ない		
レバーハンドルは十分に開いていますか？	レバーハンドルを十分に開けてご使用ください。ただし、浄水センサーまたはエコセンサーをご使用の場合は、流量は一定となり、レバーハンドルでの調整はできません。	P.10
湯水の止水栓は十分に開いていますか？	「止水栓による流量調整」をご参照いただき、流量を調整してください。	P.69
<b>【能力切替付ガス給湯器をご使用の場合】</b> 給湯器の能力は適正能力に設定されていますか？	給湯器の能力を適正能力に設定してください。	—
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.57 P.70 P.74 P.77
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まっている場合は、散水穴を安全ピンなどで刺して取り除いてください。	P.59

流量が少ない		
【浄水タイプ、エコセンサー付タイプの場合】 低圧時、定流量弁を外さない状態で使用していませんか？	定流量弁を外して、止水栓で流量を調節してください。	P.87

水の流れが乱れる		
レバーハンドルは十分に開いていますか？	流量が少ないと水が乱れる場合があります。少し流量を増やしてご使用ください。	—
切替レバーは確実にシャワーもしくは整流の位置に切り替わっていますか？	切替レバーを中間位置で止めると水が飛びはねることがあります。確実にシャワーもしくは整流の位置にしてご使用ください。	P.35
ストレーナーにゴミが詰まっていますか？	ストレーナーにゴミが詰まっている場合は取り除いてください。	P.57 P.70 P.74 P.77
散水板にゴミが詰まっていますか？	散水板にゴミが詰まると水が乱れることがあります。「散水板の掃除」をご参照いただき、ゴミを取り除いてください。	P.59

レバーハンドル操作が始めより重くなる		
故障ではありません。	ご使用していただく間(0～6ヵ月程度)に、内部の部品がなじむことによる現象です。	—

自動センサー ON/OFF スイッチの操作が重い		
自動センサー ON/OFF スイッチに汚れがたまっていますか？	汚れを取り除いてください。	P.59

## 浄水が、変なおいや味がする

浄水カートリッジが入っていますか？	浄水カートリッジを取り付けてください。	P.7
浄水カートリッジの交換時期を過ぎていませんか？	浄水カートリッジを新しいものに交換してください。	P.49
浄水カートリッジが目詰まりしていませんか？	浄水カートリッジを新しいものに交換してください。	P.49

## 浄水カートリッジから水が漏れる

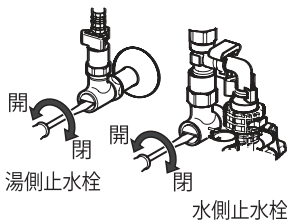
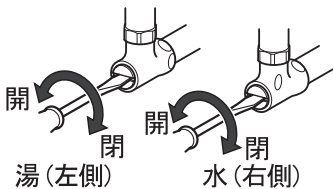
ワンタッチジョイントが正しく接続されていますか？	ワンタッチジョイントを正しく接続してください。	P.52
--------------------------	-------------------------	------

## ラジオにノイズが入る

水栓の近くに置いていませんか？	ラジオを水栓から遠ざけてください。	—
-----------------	-------------------	---

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、「アフターサービスについて」をご参照いただき、取付店（または販売店）またはLIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。

## ●止水栓による流量調整



1. レバーハンドルを湯側いっぱい位置にして全開にします。
2. 湯側の止水栓をまわして適量に調整します。
3. レバーハンドルを水側いっぱい位置にして全開にします。
4. 湯の吐出量とほぼ同じになるように水側の止水栓を調整します。

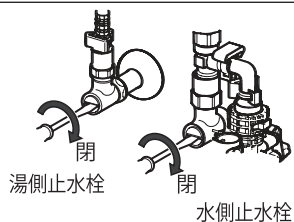
## ●メインバルブ内部のストレーナーの掃除

吐水口、散水板の掃除をしても湯水の流量が増えない場合は、メインバルブのストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。次の手順でメインバルブ内部のストレーナーの掃除をしてください。

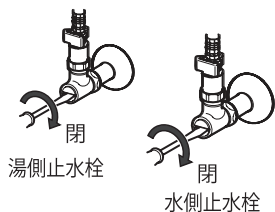
※引出しやキャビネット内部に収納されているものは、いったん取り出ししておくことをおすすめします。

※作業を始める前に手順をお読みいただき、難しいと感じられた場合は、取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。有料となります。

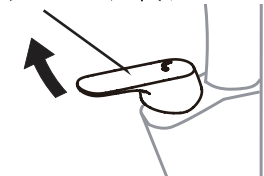
1. 水を受けるボウルやタオルなどを用意し、レバーハンドルを閉じておく。



2. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓（2カ所）を矢印の方向いっぱいにもわし、止水栓を閉じる。

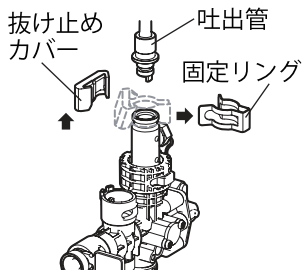


レバーハンドル

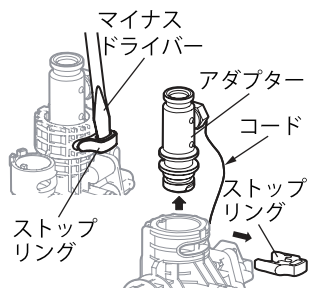


※イラストは浄水タイプ

3. レバーハンドルを開け、湯水センサーに手をかざして水が止まったことを確認する。



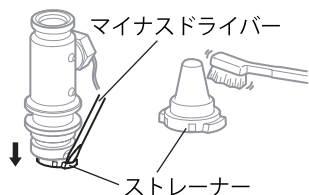
4. メインバルブの下にボウルなどを置き、メインバルブの抜け止めカバーと固定リングを外し、吐出管からメインバルブを外す。



5. ストップリングをマイナスドライバーで外し、アダプターを外す。

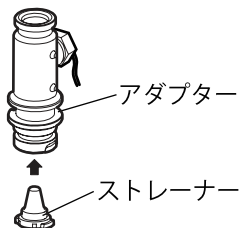
アダプターからコードが出ています。外す際は、コードが引っ張られないようにしてください。  
※断線して使用できなくなるおそれがあります。





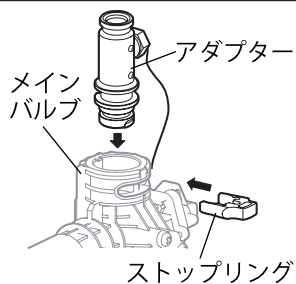
6. ストレーナーをマイナスドライバーで矢印の方向に取り出し、歯ブラシなどでゴミをこすり落とす。

洗剤は使わないでください。

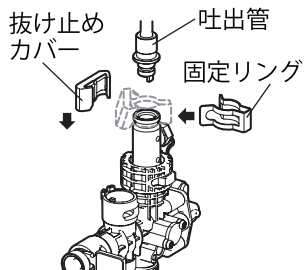


7. アダプターの溝とストレーナーの凸部を合わせてしっかりとめ込む。

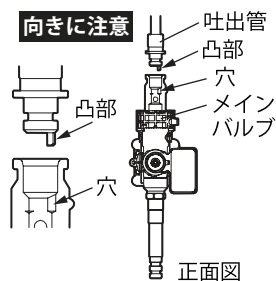




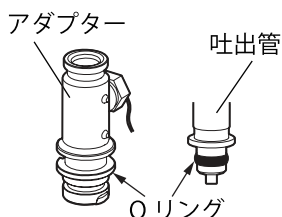
8. アダプターをメインバルブに取り付け、ストップリングをはめ込む。



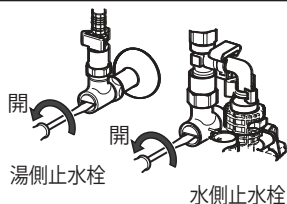
9. 吐出管の凸部ををアダプターの溝に合わせて差し込み、固定リングをはめ、抜け止めカバーで固定する。



### 注意



アダプターや吐出管のOリングにキズやゴミがつかないように注意してください。  
※漏水の原因となります。



10. マイナスドライバーなどで湯側・水側の止水栓(2カ所)を矢印の方向にまわし、流量を調節する。

【浄水タイプ・エコセンサー付タイプの場合】

## ●浄水バルブ・給水バルブ内部のストレーナーの掃除

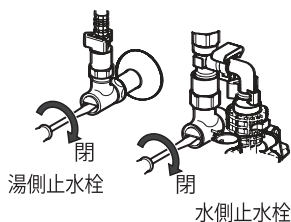
吐水口、散水板の掃除をしても浄水、エコセンサー吐水の流量が増えない場合は、浄水バルブ・給水バルブのストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。次の手順で浄水バルブ・給水バルブ内部のストレーナーの掃除をしてください。

※引出しやキャビネット内部に収納されているものは、いったん取り出ししておくことをおすすめします。

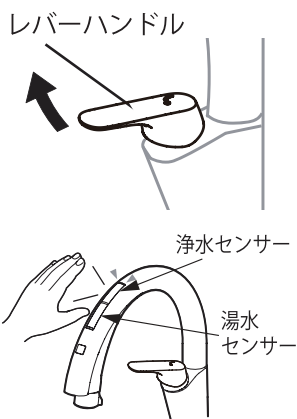
※作業を始める前に手順をお読みいただき、難しいと感じられた場合は、取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。有料となります。

浄水タイプの場合：浄水バルブ

エコセンサー付タイプの場合：給水バルブ

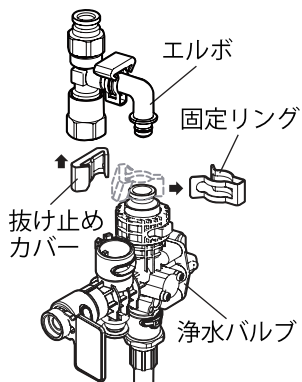


1. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓（2カ所）を矢印の方向いっぱいにもわし、止水栓を閉じる。

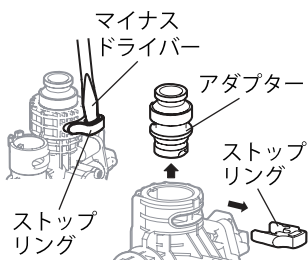


2. レバーハンドルを開け、湯水センサー及び浄水センサーまたはエコセンサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。

※イラストは浄水タイプ

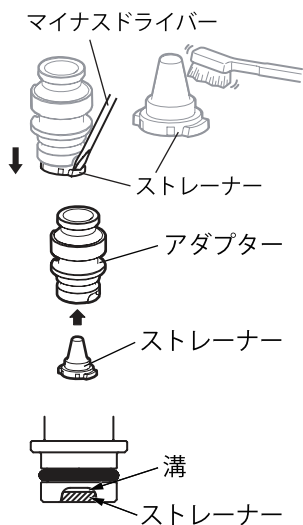


※イラストは浄水タイプ



3. 抜け止めカバーを上にもスライドさせて取外し、固定リングを外し、浄水バルブ（浄水タイプの場合）/ 給水バルブ（エコセンサー付タイプの場合）をエルボから外す。

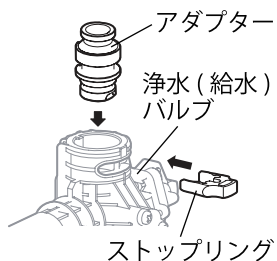
4. ストップリングをマイナスドライバーで外し、アダプターを外す。



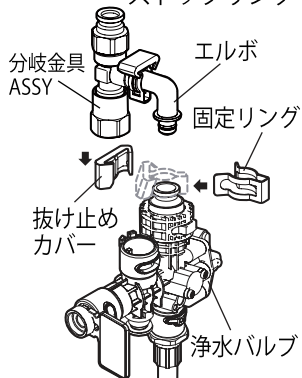
5. ストレーナーに付着したゴミをブラシなどでこすり落とす。

洗剤は使用しないでください。

6. アダプターの溝とストレーナーの凸部を合わせてしっかりとはめ込む。



7. アダプターを浄水バルブ (浄水タイプの場合) / 給水バルブ (エコセンサー付タイプの場合) に取り付け、ストップリングをはめ込み固定する。

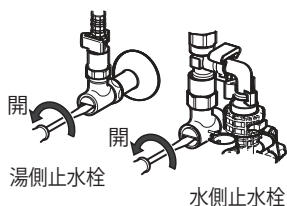
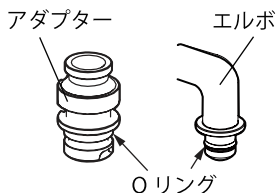


8. 浄水バルブ (浄水タイプの場合) / 給水バルブ (エコセンサー付タイプの場合) をエルボに接続し、固定リングを差し込み、抜け止めカバーを上からスライドさせて取り付ける。

アダプターやエルボのOリングにキズやゴミがつかないように注意してください。

※漏水の原因となります。

※イラストは浄水タイプ



9. 【最適流量の目安】 (P.10) を参考に湯水センサーに手をかざして水を出しながら、水側・湯側の止水栓を矢印の方向にまわし、流量を調整する。

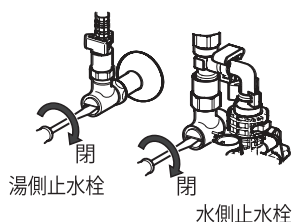
## ●逆止弁ソケット内部のストレーナーの掃除

### 【一般地仕様の場合】

メインバルブ、給水バルブ、浄水バルブのストレーナー掃除をしても流量が増えない場合は、逆止弁ソケット内部のストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。

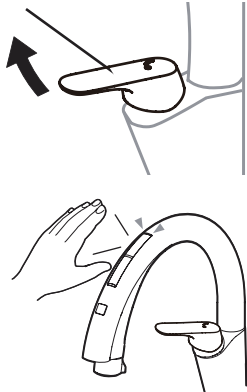
※取付店（または販売店）または LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。有料となります。

### 【浄水タイプの場合】

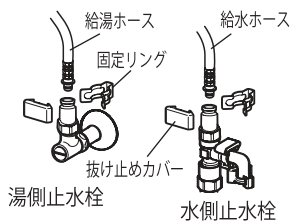


1. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓（2カ所）を矢印の方向いっぱいになわし、止水栓を閉じる。

レバーハンドル

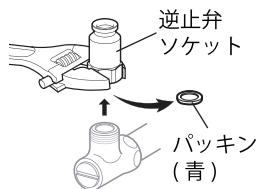


2. レバーハンドルを湯と水の間位置で上げ、浄水センサーと湯水センサーそれぞれに手をかざし、圧が抜けたことを確認する。

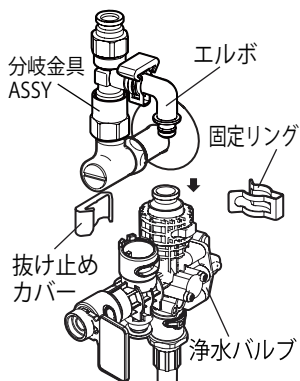


3. 抜け止めカバーを上スライドさせて外し、固定リングを外し、それぞれ給湯ホース、給水ホースを外す。

ボウルなどで水を受けてください。

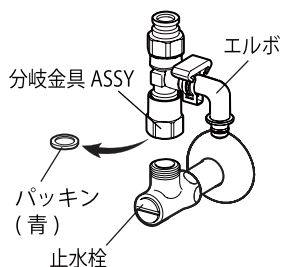


4. 湯側止水栓の逆止弁ソケットを外して、パッキン (青) を取り外す。

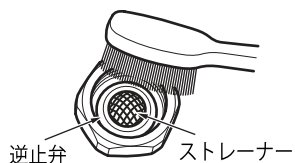


5. 浄水バルブの抜け止めカバーと固定リングを外し、浄水バルブを取り外す。

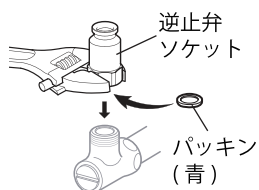
ボウルなどで水を受けてください。



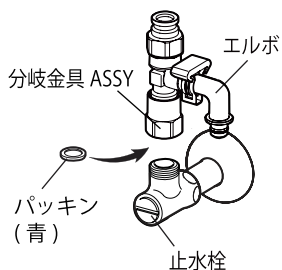
6. 止水栓から分岐金具 ASSY を外して、パッキン (青) を取り外す。



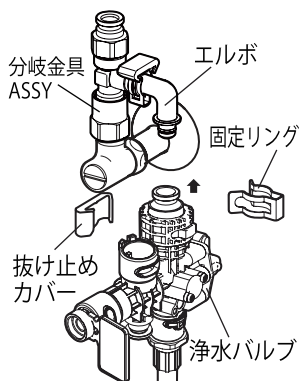
7. 逆止弁ソケットと分岐金具 ASSY のストレーナー部分に付着したゴミを歯ブラシなどでこすり落とし、水洗いする。



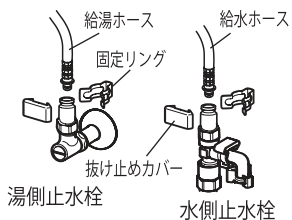
8. パッキン (青) を逆止弁ソケットに戻し、逆止弁ソケットを湯側止水栓に取り付ける。



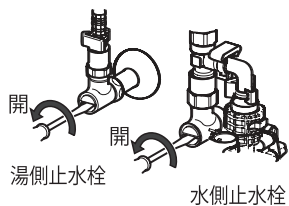
9. パッキン (青) を分岐金具 ASSYに戻し、水側止水栓に分岐金具 ASSY、浄水バルブを取り付ける。





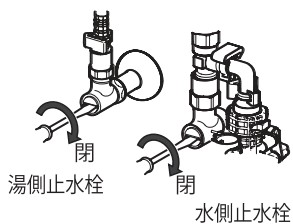


10. 給水・給湯ホースをはめ込み、固定リングを差し込み、抜け止めカバーを取り付ける。

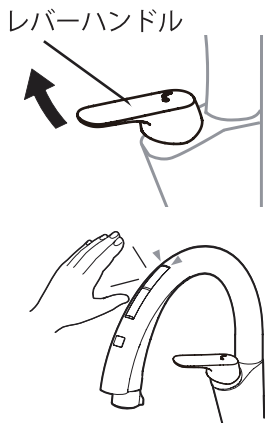


11. 【最適流量の目安】(P.10)を参考に湯水センサーに手をかざして水を出しながら、水側・湯側の止水栓を矢印の方向にまわし、流量を調整する。

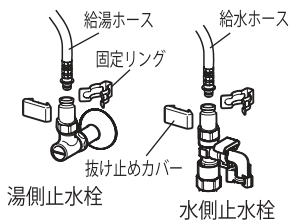
## 【エコセンサー付タイプの場合】



1. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓 (2 ヲ所) を矢印の方向いっぱいまわし、止水栓を閉じる。

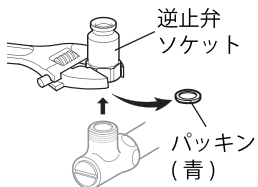


2. レバーハンドルを湯と水の間位置で上げ、エコセンサーと湯水センサーそれぞれに手をかざし、圧が抜けたことを確認する。

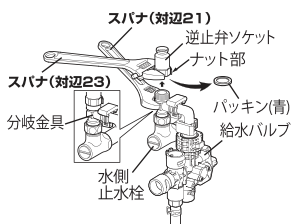


3. 抜け止めカバーと固定リングを外し、それぞれ給湯ホース、給水ホースを外す。

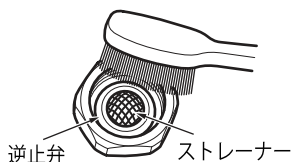
ボウルなどで水を受けてください。



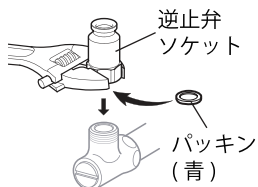
4. 湯側止水栓の逆止弁ソケットを外して、パッキン(青)を取り外す。



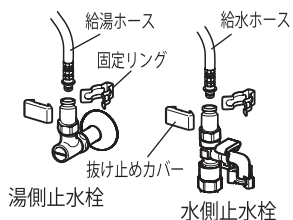
5. スパナを給水バルブの分岐金具と逆止弁ソケットの工具掛けにかけ、逆止弁ソケットを外し、パッキン(青)を取り出す。



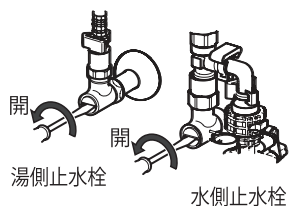
6. ストレーナー部分に付着したゴミを歯ブラシなどでこすり落とし、水洗いする。



7. パッキン(青)を元に戻し、逆止弁ソケットを湯側止水栓と給水バルブに取り付ける。

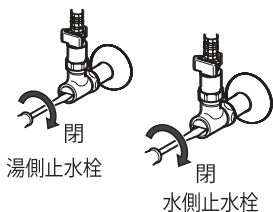


8. 給水・給湯ホースをはめ込み、固定リングを差し込み、抜け止めカバーを取り付ける。

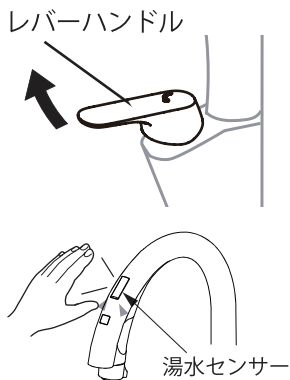


9. 【最適流量の目安】(P.10)を参考に湯水センサーに手をかざして水を出しながら、水側・湯側の止水栓を矢印の方向にまわし、流量を調整する。

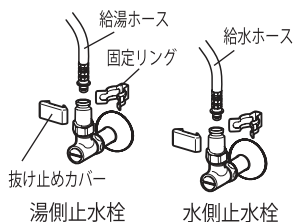
## 【ノーマルタイプの場合】



1. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓 (2カ所) を矢印の方向いっぱいにもわし、止水栓を閉じる。

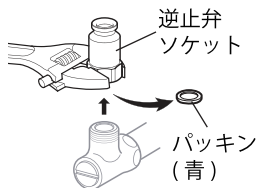


2. レバーハンドルを湯と水の間位置で上げ、湯水センサーに手をかざし、圧が抜けたことを確認する。

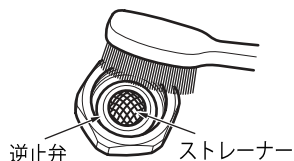


3. 抜け止めカバーと固定リングを外し、それぞれ給湯ホース、給水ホースを外す。

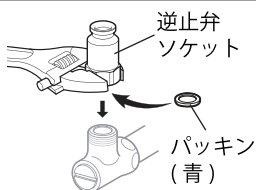
ボウルなどで水を受けてください。



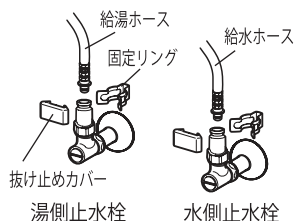
4. 湯側・水側止水栓 (2カ所) の逆止弁ソケットを外して、パッキン (青) を取り外す。



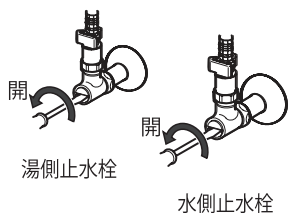
5. ストレーナー部分に付着したゴミを歯ブラシなどでこすり落とし、水洗いする。



6. パッキン (青) を元に戻し、逆止弁ソケットを止水栓に取り付ける。



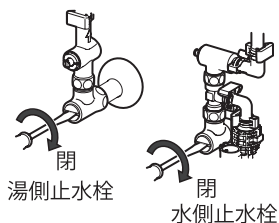
7. 給水・給湯ホースをはめ込み、固定リングを差し込み、抜け止めカバーを取り付ける。



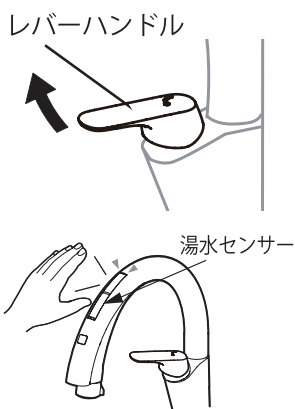
8. 【最適流量の目安】 (P.10) を参考に湯水センサーに手をかざして水を出しながら、水側・湯側の止水栓を矢印の方向にまわし、流量を調整する。

## 【寒冷地の場合】

1. 水を受けるボウルやタオルなどを用意しておく。

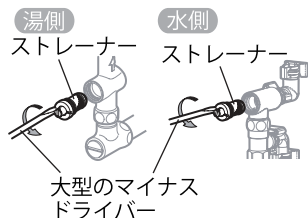


2. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓 (2カ所) を矢印の方向いっぱいまわし、止水栓を閉じる。

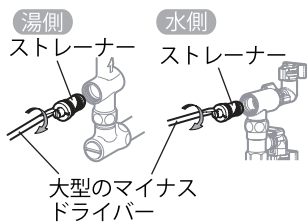


3. レバーハンドルを湯と水の間位置で上げ、湯水センサーに手をかざし、圧が抜けたことを確認する。

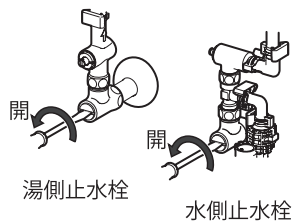
※イラストは浄水タイプ



4. ストレーナーをマイナスドライバーで矢印の方向にまわして取り外し、ゴミを歯ブラシなどでこすり落とす。



5. ストレーナーを取り付け、マイナスドライバーで矢印の方向にまわす。



6. 【最適流量の目安】(P.10)を参考に湯水センサーに手をかざして水を出しながら、水側・湯側の止水栓を矢印の方向にまわし、流量を調整する。

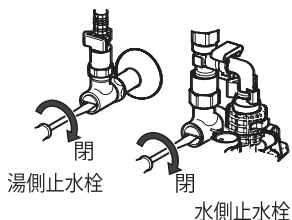
【浄水タイプ・エコセンサー付タイプの場合】

## ●定流量弁の取外し方法

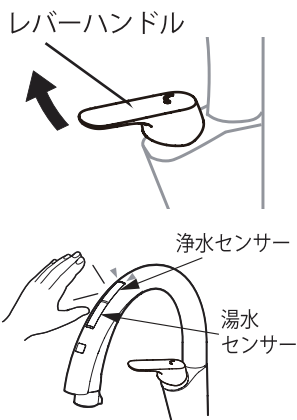
浄水センサーまたはエコセンサーで出した水の量が少ない場合は、次の手順に従って定流量弁を外してください。

浄水タイプの場合：浄水バルブ

エコセンサー付タイプの場合：給水バルブ



1. マイナスドライバーなどを使って湯側・水側の止水栓（2カ所）を矢印の方向いっぱいまわし、止水栓を閉じる。

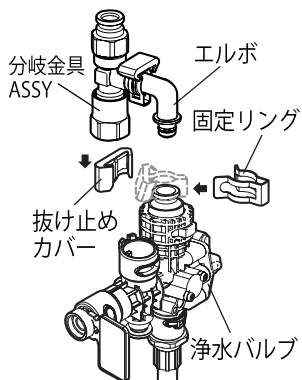


2. レバーハンドルを開け、湯水センサー及び浄水センサーまたはエコセンサーに手をかざして、水が止まったことを確認する。

※イラストは浄水タイプ

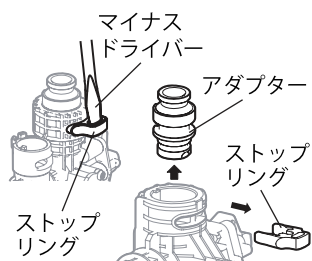
3. 浄水バルブ / 給水バルブの下にバケツまたは雑巾などを置く。



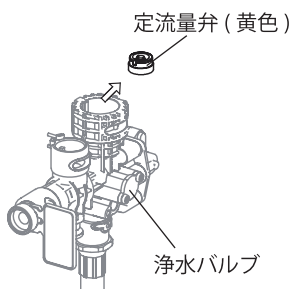


※イラストは浄水タイプ

4. 浄水バルブ ( 浄水タイプの場合 ) / 給水バルブ ( エコセンサー付タイプの場合 ) の抜け止めカバーを上にもスライドさせて取外し、固定リングを外し、エルボから外す。

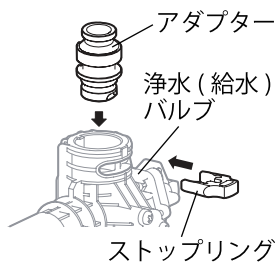


5. ストップリングをマイナスドライバーで外し、アダプターを外す。



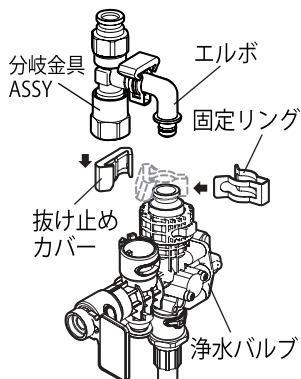
※イラストは浄水タイプ

6. アダプターが入っていたくぼみに入っている定流量弁 ( 黄色 ) を取り出す。  
定流量弁が取り出しづらいときは、ラジオペンチなどで取り出してください。



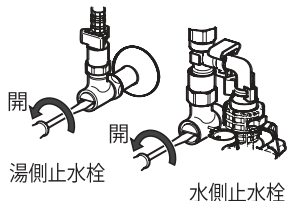
7. アダプターを元の位置に戻し、ストップリングを差し込む。

アダプターのOリングにキズやゴミがつかないように注意してください。



8. 浄水バルブ (浄水タイプの場合) / 給水バルブ (エコセンサー付タイプの場合) をエルボに接続し、固定リングを差し込み、抜け止めカバーを上からスライドさせて取り付け。

※イラストは浄水タイプ



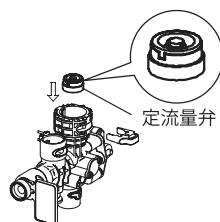
9. 【最適流量の目安】(P.10) を参考に浄水センサーまたはエコセンサーに手をかざして水を出しながら、水側・湯側の止水栓を矢印の方向にまわし、流量を調整する。

湯と水の流量が同じになるように調整してください。また、浄水バルブ / 給水バルブ接続部周辺から水漏れがないかを確認してください。

### 注意

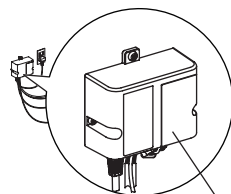
定流量弁を取り付ける場合は、向きに注意してください。

※向きを間違えると、水が止まらなくなったり、漏水の原因となります。



## ●コネクター差し込みの確認方法

タッチレスセンサーに手をかざしても水が出ないとき、シンク下に設置されているコントロールボックス内のコネクターが抜けていることも考えられます。



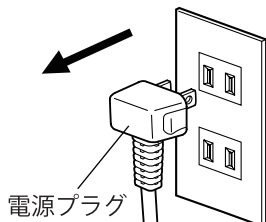
コントロールボックス

次の手順でご確認ください。

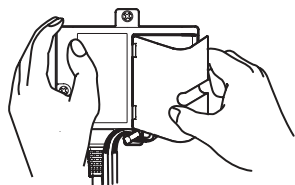
動画はコチラ！  
※別途通信料が発生  
する場合があります。



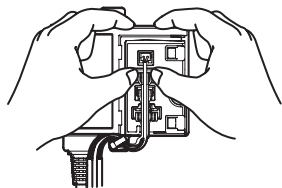
6290211928001



1. シンク下にある電源プラグをコンセントから抜く。



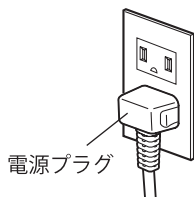
2. コントロールボックスのフタを外す。



3. 4つのコネクターそれぞれのつまみを持って押し込む。

配線を引っ張らないでください。  
※断線して使用できなくなるおそれがあります。

4. コントロールボックスのフタを取り付ける。



5. 電源プラグをコンセントに差し込む。



6. タッチレスセンサーに手をかざして、水がでるか確認する。

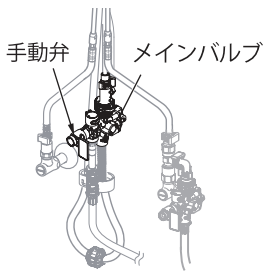
※イラストは浄水タイプ

## ●停電及びセンサー故障時の応急処置

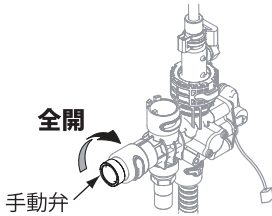
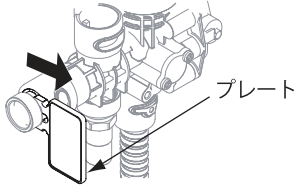
停電になると自動センサー、タッチレスセンサーが使用できなくなります。応急処置としてメインバルブの手動弁を開けることで、レバーハンドルで水の出し止めができます。(浄水は使用できません。)

次の手順で手動弁を開けてください。

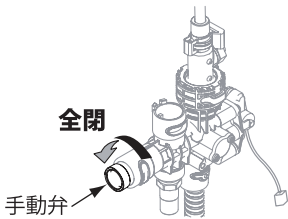
※停電終了後は、3、4の操作をして、応急処置前の状態に戻してください。



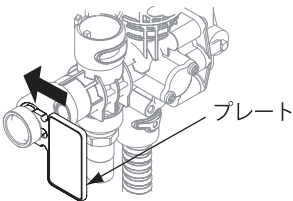
1. メインバルブのプレートを手印の方向へ引っ張り取り外す。



2. 手動弁を手印の方向いっぱいにもわす。  
レバーハンドルで水の出し止めができません。



3. 停電終了後、センサーの故障処置後は、手動弁を手印の方向いっぱいにもわす。



4. プレートを取り付ける。

# アフターサービスについて

## 1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に (P.62)」を確認してください。



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。  
※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。



## 2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取付店（または販売店）で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

**保証期間は取付けの日から2年間です。**

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3. 修理を依頼されるとき

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎていたときは>

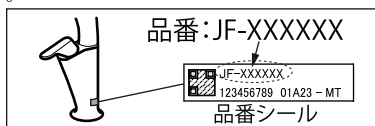
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料+”出張料+”部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号   | 2. 商品名    |
| 3. 品番（商品に表示、右記参照） | 4. ご購入日   |
| 5. 故障内容、異常の状況     | 6. 訪問ご希望日 |



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

## 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。この**部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**  
保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

## 5. アフターサービスなどについておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

取付店/販売店または LIXIL修理受付センターへ

■WEB サイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00 ~ 19:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などは緊急時のみ対応)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

土日・祝日 9:00 ~ 17:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く)

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけません。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# 仕様

## 【水栓 / 吐水口：標準タイプ】

機種	浄水タイプ	JF-NAH461SY 型	JF-NAH461SYN 型
	エコセンサー付タイプ	SF-NAH471SY 型	SF-NAH471SYN 型
	ノーマルタイプ	SF-NAH451SY 型	SF-NAH451SYN 型
仕様		一般地仕様	寒冷地仕様
電源		AC 100V 50/60Hz	
消費電力		常時：0.8W 以下 作動時：2.5W 以下	
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水 (注1)	
給湯器設定温度		85℃以下	
使用环境温度		0～40℃ (注2)	-20℃～40℃ (注2)
感知距離	タッチレスセンサー	約 40 mm	
	自動センサー	130 mm (ロングモード：150 mm) 吐水中 200 mm	
感知エリア幅	タッチレスセンサー	約φ 5 mm	
	自動センサー	φ 10 mm以下	
電源コード長さ		1170 mm	
給水 (給湯) 接続		G1/2	
圧力条件		0.06MPa(流動時)～0.75MPa(静止時) (常用使用圧 0.06～0.35MPa) 給水圧力≥給湯圧力	
高温止水機能 (自動センサー)		本製品は、安全のため自動センサーは約 47℃以上の湯が出ないように設定されています。 高温の湯をご使用の場合は、湯水センサーをご使用ください。	

(注1)：飲用可能な井戸水とは、水道水に定められた飲料水の水質基準に適合する水を用いる。

(注2)：ただし、内部の水を凍結させないでください。

## 【水栓 / 吐水口：ロングタイプ】

機種	浄水タイプ	JF-NAH462SY 型	JF-NAH462SYN 型
	エコセンサー付タイプ	SF-NAH472SY 型	SF-NAH472SYN 型
	ノーマルタイプ	SF-NAH452SY 型	SF-NAH452SYN 型
SF-NAR452SY 型		SF-NAR452SYN 型	
仕様		一般地仕様	寒冷地仕様
電源		AC 100V 50/60Hz	
消費電力		常時：0.8W 以下 作動時：2.5W 以下	
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水 (注1)	
給湯器設定温度		85℃以下	
使用环境温度		0～40℃ (注2)	-20℃～40℃ (注2)
感知距離	タッチレスセンサー	約 40 mm	
	自動センサー	130 mm (ロングモード：150 mm) 吐水中 200 mm	
感知エリア幅	タッチレスセンサー	約φ 5 mm	
	自動センサー	φ 10 mm以下	
電源コード長さ		1170 mm	
給水 (給湯) 接続		G1/2	
圧力条件		0.1MPa(流動時)～0.75MPa(静止時) (注3) 給水圧力≧給湯圧力	
高温止水機能 (自動センサー)		本製品は、安全のため自動センサーは約 47℃以上の湯が出ないように設定されています。 高温の湯をご使用の場合は、湯水センサーをご使用ください。	

(注1)：飲用可能な井戸水とは、水道水に定められた飲料水の水質基準に適合する水を用いる。

(注2)：ただし、内部の水を凍結させないでください。

(注3)：浄水シャワー以外は、水栓単品の場合は流動時 0.06MPa～ご使用できます。



## 【浄水カートリッジ】

浄水器の種類		浄水器Ⅱ形	
カートリッジ品番		JF-45N	JF-43N
材料の種類		カートリッジ部：ABS樹脂 接続ホース：ポリエチレン	カートリッジ部：ABS樹脂 接続ホース：ポリエチレン
ろ材の種類		中空糸膜、活性炭、不織布、 セラミック(原材料：アルミノ ケイ酸カルシウム※1)	活性炭、不織布、セラミック (原材料：アルミノケイ酸カルシウム 及び珪藻土の2層構造)、珪藻土
ろ過流量		2.5L/分(流動時0.1MPa)	3.0L/分(流動時0.1MPa)
使用可能な最小動水圧		0.06MPa	0.06MPa
浄水能力 日本産業規格 (JIS S 3201) での試験結果	遊離残留塩素	総ろ過水量 40, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 40, 000L(除去率 80%)
	濁り	総ろ過水量 20, 000L(ろ過流量 50%)	総ろ過水量 10, 000L(ろ過流量 50%)
	クロロホルム	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)
	ブロモジクロロメタン	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)
	ジブロモクロロメタン	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)
	ブromoホルム	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)
	テトラクロロエチレン	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)
	トリクロロエチレン	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)
	総トリハロメタン	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)
	CAT(農薬)	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)
	2-MIB(※2)	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 20, 000L(除去率 80%)
	溶解性鉛	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)
	1, 2-DCE(※3)	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	—
	ベンゼン	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	—
	ジェオスミン	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	—
	陰イオン界面活性剤	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	—
	フェノール類	総ろ過水量 10, 000L(除去率 80%)	—
カートリッジの交換時期目安		12ヵ月	12ヵ月

(注1)：ミネラルセラミックフィルター(原材料：アルミノケイ酸カルシウム)は、抗菌製品技術協議会(SIAA)の定める抗菌製品の品質と安全性の自主基準に適合しています。

(注2)：2-メチルイソボルネオール、カビ臭のこと。

(注3)：シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン、揮発性有機塩素化合物のこと。

浄水器協会の規格基準 (JWPAS B) での試験結果

品番		JF-45N
除去性能	鉄 (微粒子状)	除去率 80%
	アルミニウム (中性)	除去率 80%

※水栓本体購入時の付属浄水器は、JF-45N(17+2 物質除去タイプ)です。

## ご案内

- 水栓本体購入時の付属浄水カートリッジは、JF-45N です。
- JF-45N と JF-43N の製品寸法は同じです。
- JF-45N は除去性能が向上しているため、ろ過流量が JF-43N より少ない仕様になっています。

## 【浄水カートリッジの構造】

独自の4構造が「おいしい水」を作り出します。

①不織布…鉄サビなど比較的粗い濁り成分を除去します。

②活性炭…

遊離残留塩素、クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、

ブロモホルム、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、総トリハロメタン、

CAT、2-MIB、溶解性鉛、1,2-DCE、ベンゼン、ジェオスミン、陰イオン界面活性剤、

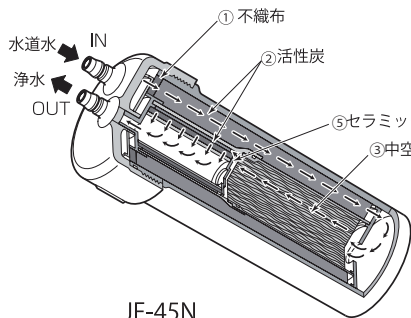
フェノール類を除去します。

③中空糸膜…雑菌、凝集体などより微細な  $0.1 \mu\text{m}$  以上の濁り成分を除去します。

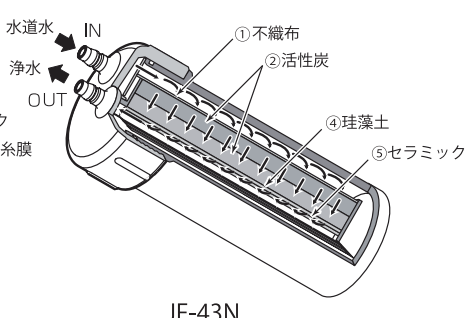
④珪藻土…より微細な濁り成分を除去します。

⑤セラミック…抗菌性を発揮して、細菌の繁殖を抑えます。

( 原材料：アルミノケイ酸カルシウム )



JF-45N



JF-43N

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、取付店（または販売店）に修理をご依頼ください。

※品番・取付日/ご購入日・お客さま・取付店/販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：キッチン用ハンズフリー水栓（品番：_____）	
保証期間 取付日より2年（_____）	取付日/ご購入日 _____年 月 日
お客さま おなまえ おところ おでんわ （_____） - _____	取付店/販売店 _____
	TEL（_____） - _____

無効

お客さまへ  
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。  
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

## 無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
  - 無料修理をお受けになる場合、取付店（または販売店）にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
  - ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取付店（または販売店）に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
  - 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
    - 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障および損傷などの不具合
    - 指定業者や施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合
    - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷などの不具合
    - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
    - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
    - 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
    - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属屑、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
    - 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
    - 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障および損傷
    - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
    - 自然現象や住環境に起因する結露・梁み出し・かびなどの現象
    - 消耗品（浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池など）類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
    - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷不具合
    - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷
    - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入および水あか固着に起因する不具合
    - ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水质、音、振動など）に起因する故障および損傷などの不具合
    - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
    - 本書に取付日/ご購入日・お客さまのお名前・取付店/販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、取付店（または販売店）または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
  - 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造切後10年です。
- ※保証内容はWEB取扱説明書でもご確認くださいませ。なお、予告なく内容や条件を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400 ※フリーダイヤルは携帯電話、PHS・IP電話などではご利用

FAX ☎ 0120-179-430 できない場合がございます。

受付時間 平日 9:00～18:00 下記番号をご利用ください。

土日・祝日 9:00～17:00 TEL 0562-40-4050

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く） FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら ■お電話でも修理を承ります

※24時間依頼可能 受付時間/9:00～19:00

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>